

令和2（2020）年度

入 学 者 選 抜 概 要



鳥 取 大 学

本概要は、令和2（2020）年度鳥取大学入学者選抜に関する基本的な事項についてのみ記載したものです。

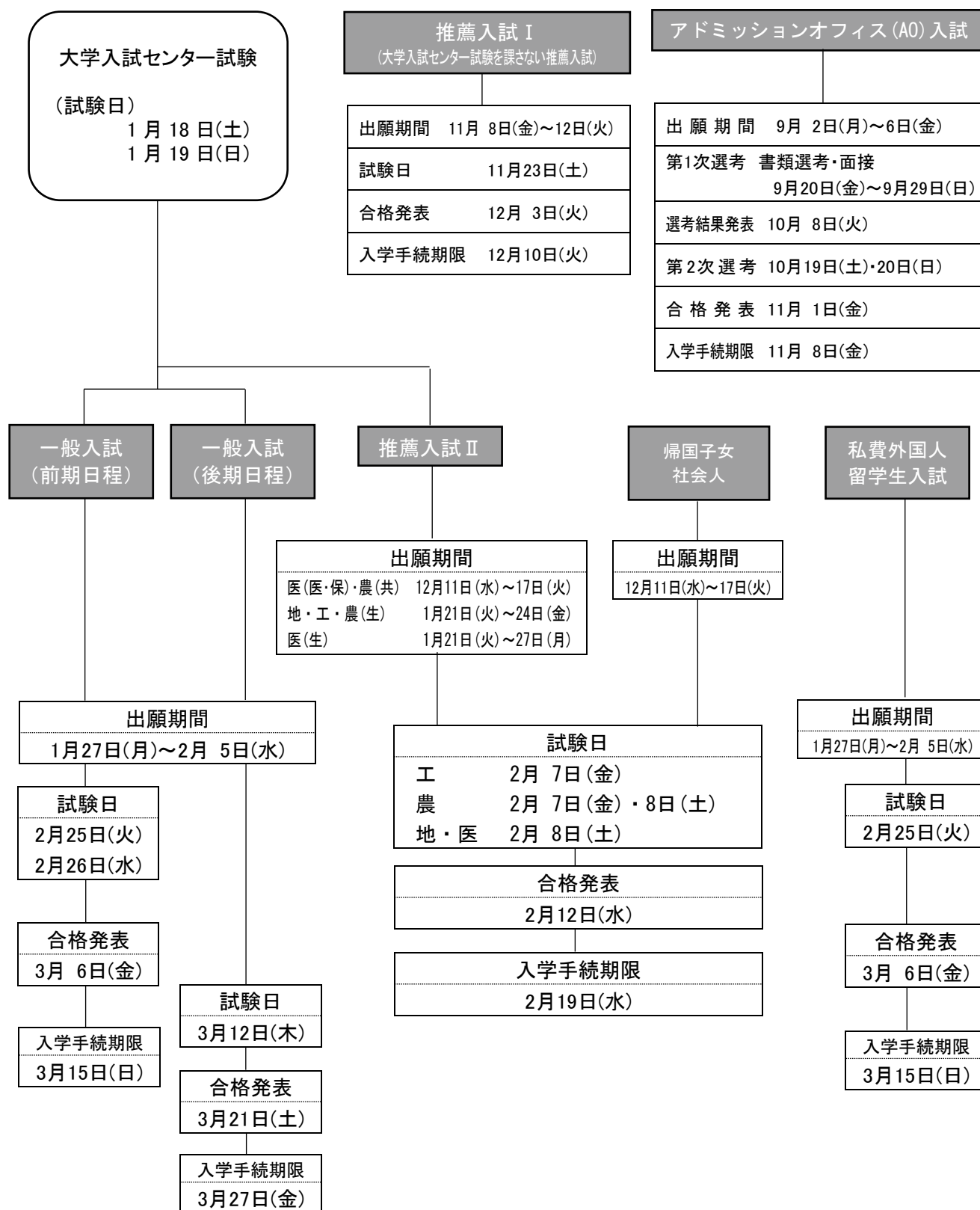
詳細については、各入試の学生募集要項でお知らせしますので出願に際しては、必ずご確認ください。

なお、学生募集要項の冊子での配布は行いませんので、次の発表時期以降、ホームページからダウンロードしてください。

鳥取大学入学試験情報ホームページ <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

- | | |
|--|---------|
| ① 一 般 入 試 | 1 1 月上旬 |
| ② アドミッションオフィス入試 | 7 月中旬 |
| ③ 推薦入試Ⅰ，推薦入試Ⅱ | 9 月上旬 |
| ④ 特別入試（帰国子女，社会人）
及び私費外国人留学生入試 | 1 0 月上旬 |

令和2年度 鳥取大学入学選抜試験日程一覧



〈不測の事態が発生した場合の諸連絡〉

災害等により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により当初の試験開始時刻での実施が困難な場合は、延期又は開始時刻繰り下げ等の対応を以下の本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。詳細については、各入試の学生募集要項でお知らせしますので出願に際しては、必ずご確認ください。

【鳥取大学入学試験情報】

PCサイト：<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

携帯電話サイト：<http://daigakuic.jp/toridai/>



鳥取大学憲章

鳥取大学は、明治7年設置の小学教員伝習所を起源とする鳥取師範学校と鳥取青年師範学校、大正9年に設置された鳥取高等農業学校の流れをくむ鳥取農林専門学校、及び昭和20年に設置された米子医学専門学校を前身とする米子医科大学を包括して、昭和24年に国立学校設置法による新制国立大学として、学芸学部、農学部、医学部の3学部で発足した。昭和40年には地域の産業育成を目指し工学部が設置された。

前身校時代から現在まで、実学を重視して、人類が蓄積してきた知識を駆使し、地域社会が直面する課題に果敢に挑み、人々の生活の向上と産業の育成を通して地域に貢献してきた。同時に、問題の解決を探究する中から人類に有用な普遍的知識を見出して世界に発信し、平和な社会の建設と人材の育成や学術の進歩に寄与してきた。

鳥取大学は、常に地域に寄り添う姿勢を堅持するとともに世界を視野に入れた活動を行ってきた。様々な価値観が交錯するグローバル時代を迎えて、多様な文化や考え方があることを理解し、少数者や厳しい条件下におかれている人々に対する思いやりの心を持ち、社会に対する責任を果たすことを行動の規範とする。

■鳥取大学の基本理念「知と実践の融合」

鳥取大学は、このように実学を中心に地域とともに歩んで世界へ展開してきた伝統を重んじ、これからも知識を深め理論を身につけ、実践を通して地域から国際社会まで広く社会に貢献することで、知識をさらに智慧に昇華する営みを志向していく。すなわち、理論と実践を相互に触発させ合うことにより問題解決と知的創造を行う「知と実践の融合」を本学の基本の理念とし、教育、研究及び社会貢献に取り組む。

■鳥取大学の目標

鳥取大学は、「知と実践の融合」の基本理念のもと、人々が安心して暮らすことのできる未来を創るために前進していく。地球規模の課題の克服も身近な地域課題の解決から始まり、地域の問題は地球的視点で取り組むことが必要であり、そして何よりも人類の幸福のために役立たねばならないとの認識から、次の3つの目標を掲げる。

1. 社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成
2. 地球規模及び社会的課題の解決に向けた先端的研究の推進
3. 国際・地域社会への貢献及び地域との融合

鳥取大学は、今日の本学を築きあげた先達の労苦に思いをはせ、誇りある伝統を受け継ぎ、つづく後進が恭敬の念を持ってこの学び舎を引き継ぐことができるように、持てる力のすべてをかけ目標の達成に努めていく。

入学者受入れの方針

鳥取大学は、本学の基本理念である「知と実践の融合」を志向し、「知識を深め理論を身につけるとともに、実践を通して地域から国際社会まで広く貢献していきたい」という意欲をもった、次のような人を求めています。

1. 文化、社会、自然に関する基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得している人
3. 自己の能力を継続的に向上させようとする意欲がある人
4. 倫理観及び責任感をもち他者と協働して社会に貢献したいと考えている人

上記のような人を選抜するために、様々な背景を持つ人に対して広く受験機会の門戸を開くよう、多様な入試の機会を設けます。

地 域 学 部

地域学部地域学科

地域学部は、人々の生活の質の向上とその基盤である地域の持続的発展に貢献するために、地域の特質を深く理解して、地域の抱える諸問題や公共的課題を的確に把握し解決するための知識・思考力・社会的実践力を備えた人材の育成を目指しています。その目的のために、地域の暮らしを粹づけている自然と人間との関係、そして両者の相互作用を通して形成され、人々の発想や行動の源泉となっている様々なつながりと文化、さらに近現代の価値観や諸制度、グローバルな動き等について学ぶことが必要です。そこで地域学部では、以下のような特色ある3つの教育研究を行います。

1. 地域で生起している諸問題を構造的に把握するための教育研究
2. 地域の持続的発展について具体的に構想し、取り組むための教育研究
3. 地域を支える人間形成をはかるための教育研究

これらの教育研究と相互の連携、さらには地域と協働した教育を通して、理論と実践の融合した複合的能力を育成します。

地域学部では、地域とそこに生きる人々との関わりに関心を持ち、これを科学的に探求し、生活の質の向上とその基盤である地域の持続的な発展に貢献したいと願う人を求めています。本学部で、多種多様な分野の学修を通して視野を広げ、国内外の地域社会で活躍するために必要な専門性を身につけて、地域の課題を解決し豊かな生活を実現する方策を共に考えていきましょう。

〔地域創造コース〕

地域創造コースでは、多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人や、地域の様々な資源を有効に活用し、発展させるための提言ができる人を育てることを目指しています。

そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 地域の多様な課題に興味をもち、それを解決し魅力的な地域を創造したいと望んでいる人
2. 多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
3. 地域の様々な資源を有効に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力					配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
AO	1次(調査書)	○			○		40	高校での学習成績の状況等を評価する。英語以外の高難度の資格を取得している場合は加点する。
	1次(志望理由書、自己推薦書)	○	○	○	○			英語の外部検定試験についても評価する。
	1次(面接)		○	○	○		60	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
	2次(スクーリング)	○	○				300	スクーリングは、地域創造に関する基礎的講義を行う。その内容を踏まえて出題する課題論文とあわせて評価する。
	2次(課題論文)	○	○	○	○	○		
	2次(グループディスカッション)	○	○	○	○	○	300	講義内容を素材にしたテーマについて討論を行う。
	2次(面接)	○	○	○	○	○	300	志望理由、関心のある地域課題、高校生活等について問う。
推薦 I	書類審査(推薦書)				○		50	自己推薦書・調査書・推薦書は個別の評価を行わず、それらの記述内容を踏まえて行う面接とあわせて評価する。
	書類審査(自己推薦書)	○	○	○	○	○		
	書類審査(調査書)	○			○			
	個別試験(面接)	○	○	○	○	○		
	個別試験(小論文)	○	○	○	○	○	50	
一般 (前期日程)	センター試験	○	○				700	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(小論文)	○	○	○	○	○	300	小論文と調査書を総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○				600	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(小論文)	○	○	○	○	○	500	小論文と調査書を総合的に評価する。

【人間形成コース】

人間形成コースでは、学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成を目指しています。

そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
2. 地域教育学を学ぶに必要な基礎学力を備え、柔軟で創造性の豊かな思考ができる人
3. 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる教師、保育士などの仕事を強く望む人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力				配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性		
AO	1次(調査書)	○			○	20	高校での学習成績の状況等を評価する。英語以外の高難度の資格を取得している場合は加点する。
	1次(志望理由書、自己推薦書)	○	○	○	○		英語の外部検定試験についても評価する。
	1次(面接)		○	○	○	30	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
	2次(小論文)	○	○	○		60	地域教育に関する課題文(英文を含む)を踏まえた小論文と口頭発表を行う。
	2次(口頭発表)		○	○	○	40	
	2次(面接)	○	○	○	○	60	志望理由、小論文・口頭発表を題材にした質問などを行う。
	2次(グループディスカッション)		○	○	○	40	地域教育に関するグループディスカッションを行う。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○			900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○			200	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	エントリーシート(仮称)調査書			○	○	10	出願時に「エントリーシート(仮称)」を提出させ、その内容を元に調査書などに書かれた情報も参照しながら、表現力・主体性・協働性を評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○			450	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(総合問題)	○	○	○	○	300	総合問題では、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力、及び表現力を評価する。また、調査書とあわせて主体性・協働性を総合的に評価する。

【国際地域文化コース】

国際地域文化コースでは、現代社会の構造と文化的特質、グローバルな文化と芸術文化、地域の生活文化など、文化の様々な側面を、歴史性・多様性・関係性・生活における意味などから理解することを目指します。それを踏まえて、日本を含む世界の様々な地域で、異質なものを相互に認め合いながら、「一人ひとりの生活と生の充実」「つながりの創出」を実現するために必要な実践的知識や技法、言語能力や現地感覚・現場感覚を身につけた人材を養成します。

そこで本コースは、広く次のような人を求めています。

1. 様々な文化（言語・文学・歴史など）について深く学び、それを地域づくりに活用したい人
2. 芸術文化（音楽・美術・舞踊・アートマネジメント・映像など）について深く学びたい人
3. 地域の文化を多様な視点から調査・分析する意欲のある人
4. 多様な文化に触れ、国際的感性と実践的言語コミュニケーションの力を身につけたい人
5. 地域の文化的課題に取り組み、創造的地域づくりのキーパーソンを目指したい人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力						配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性	思考の 柔軟性		
AO	1次(調査書)	○			○			20	高校での学習成績の状況等を評価する。英語以外の高難度の資格を取得している場合は加点する。
	1次(志望理由書、自己推薦書)	○	○	○	○				英語の外部検定試験についても評価する。
	1次(面接)		○	○	○			30	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
	2次(自己表現)			○	○	○		100	自己の知識・経験などを発表する(英語の使用可)。
	2次(グループディスカッション)	○	○	○	○		○	100	与えられた課題に関する口頭発表と質疑応答を行う。
	2次(面接)		○			○		100	コース志望理由、課題論文を題材にした質問などを行う。なお、基礎的な英語力を問うこともある。
	2次(課題論文)	○	○	○		○		100	文化、コミュニケーションに関する課題を出題する。
推薦Ⅱ	センター試験	○	○					500	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	○	○		300	自己推薦書・調査書・推薦書は個別の評価は行わず、面接(自己表現を含む)とあわせて評価する。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○					1,200	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○				400	
	エントリーシート(仮称)調査書				○	○		10	出願時に、「エントリーシート(仮称)」を提出させ、その内容を元に調査書などに書かれた情報も参照しながら、主体性・協働性、創造性を評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○					500	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(小論文)	○	○	○	○	○		300	小論文と調査書を総合的に評価する。

医 学 部

医学部は、医学科、生命科学科、保健学科がお互いに連携を取りながら、生命の尊厳を重んじるとともに創造性に富む医療人や生命科学者を養成します。

医学部は、山陰地方の歴史と伝統のある医学部として、21世紀にふさわしい医学、生命科学、保健学を修得し、これを実践できる人材を育成するための先進的な教育を行います。そして、限らない人間愛を涵養しながら、地域社会の課題を解決し、地域の発展に貢献するとともに、国際的に活躍できる個性輝く創造性豊かな人材の養成を目指します。

医学部の理念・教育目標を達成するため、各学科では次のような人を求めます。

医学科

医学科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、地域特性に合わせた医療の実践や最先端の医学を創造できる医師を養成します。

1. 医学に関心があり、目標に向かって継続的に努力できる人
2. 医学を学ぶために必要な基礎学力・教養をもつ人
3. 問題を解決するための柔軟な思考力及び豊かな表現力をもつ人
4. 思いやり、責任感及び協調性のある健全な考え方をもつ人
5. 医学・医療と保健・福祉の発展に貢献したいと考えている人
6. 地域・国際医療に関心をもち、貢献したいと考えている人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力						配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	向上心 創造力 探究心	多角的 視野		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○					900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)		○	○	○	○	○	100	調査書・推薦書は、面接の際の参考にする。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○					900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○				600	
	個別試験(面接)		○	○	○	○	○	100	自己評価シートと調査書は、面接の際の参考にする。

生命科学科

生命科学科では、生命倫理を尊重するとともに、基礎医学と最先端の生命科学を修得し、医学とその多様な関連領域の研究者や両者の橋渡し役を担う専門的職業人を養成します。

1. 現代の医学・生命科学及びその関連分野の動向・進展に関心があり、それらの知識・技術を学び、向上・発展させる研究活動に興味をもてる人
2. 真理探究の意欲に燃え、創造的目標の達成にチャレンジし、勉学・自己研鑽に努力を怠らない人
3. 協調性を備え、生命科学を通して国際的な広い視野と、仕事への使命感を持って人類に役立つ喜びを感じる人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力					配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	○	○	200	「知識・技能」と「思考力・判断力」を中心に総合的な観点から、科学的知識、倫理観、科学者としての資質を5段階で評価する。調査書、推薦書は、面接の際の「主体性・協働性」ならびに「創造性」の評価の参考にする。
	調査書				○	○		
一般 (前期日程)	センター試験	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○			900	個別試験(教科)では、主に「知識・技能」と「表現力」を3科目各300点で評価する。
	自己評価シート 調査書				○	○	20	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	○	○	200	「知識・技能」と「思考力・判断力」を中心に総合的な観点から、科学的知識、倫理観、科学者としての資質を5段階で評価する。自己評価シート、調査書は、面接の際の「主体性・協働性」ならびに「創造性」の評価の参考にする。

保健学科

保健学科では、看護学専攻は看護学の理論と技術を修得し、人間の尊厳を守り、地域特性に合わせた看護を実践できる看護職を、検査技術科学専攻は生命倫理を尊重し、最先端のバイオサイエンスと生体・機能検査の技術をそなえた臨床検査技師を養成します。

〔看護学専攻〕

1. 健康に関わる様々な問題について、深く広い関心のある人
2. 新たな知識の探求や柔軟な発想、論理的な思考の基礎となる学力のある人
3. 相手の言葉に耳を傾け、相手の立場を思いやることができ、自らも的確に表現する力のある人
4. 他者と協調し、信頼関係を築き、主体的に行動できる人
5. 自ら課題を見出し主体的、創造的に探究して自己の成長を目指す人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力					配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○				700	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(小論文)	○	○	○			100	
	個別試験(面接)			○	○	○	100	調査書、推薦書は、主に「主体性」「協働性」「創造性」に着目し、面接の際の参考にする。
	調査書				○	○		
一般 (前期日程)	センター試験	○	○				700	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○			200	
	自己評価シート 調査書				○	○	10	自己評価シート、調査書は、主に「主体性」「協働性」「創造性」に着目し、総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○				700	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(小論文)	○	○	○			100	
	個別試験(面接)			○	○	○	100	自己評価シート、調査書は、主に「主体性」「協働性」「創造性」に着目し、面接の際の参考にする。

〔検査技術科学専攻〕

1. 科学的な思考力、判断力、表現力があり、主体的に学ぶ意欲のある人
2. 医学・医療や生命医科学を学ぶための基礎的な知識・技能のある人
3. 倫理観を備え、周囲の人と協調して行動できる人
4. 地域の医療・保健に加えて、国際的にも貢献したいと考えている人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力					配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○				800	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(小論文)	○	○	○			100	
	個別試験(面接)			○	○	○	100	調査書、推薦書は、主に「主体性」「協働性」「創造性」に着目し、面接の際の参考にする。
	調査書				○	○		
一般 (前期日程)	センター試験	○	○				800	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○	○			200	
	自己評価シート 調査書				○	○	10	自己評価シート、調査書は、主に「主体性」「協働性」「創造性」に着目し、総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○				800	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(小論文)	○	○	○			100	
	個別試験(面接)			○	○	○	100	自己評価シート、調査書は、主に「主体性」「協働性」「創造性」に着目し、面接の際の参考にする。

工 学 部

工学部は、人類の福祉と社会の発展に貢献するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行い、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的としています。この目的に共感して学ぶことのできる次のような人を求めます。

1. 地球の環境、人類の幸福・福祉に関心を持ち、社会的責任についての考えや倫理観を身につけたいと考えている人
2. 基礎知識や専門知識を学習し、学んだことを新技術開発や問題解決に応用して社会に貢献したいと考えている人
3. 目的を持って自ら学ぶ努力のできる人
4. 他者の意見を聞き、自らの意見を発信するための能力や技能を身につけたいと考えている人
5. 地域社会への貢献や国際的な活躍ができる技術力を身につけ、それを活用する意欲のある人

工学部では、基礎学力、コミュニケーション能力、学習意欲の判定のために、センター試験及び一般入試、推薦入試などを活用して入学者の選考を行います。

機械物理系学科

1. 自然現象や様々な事象に強い興味を持ち、物事を根本的なところから思考できる人
2. 機械、航空宇宙、ロボティクス、物理工学を学ぶのに必要な基礎学力、特に数学、物理についての学力、及び国語、英語などの語学能力を有し、学習意欲を持っている人
3. 自立・自律心の向上を目指す人
4. 自然環境と人間社会との共存に関心を持ち、柔軟な発想・洞察をもって課題の発見に努力のできる人
5. 課題の解決に向けて、倫理観と熱意を持って持続的に取り組むことのできる人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力			配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
推薦Ⅰ	書類審査(調査書)	○		○	100	高校での学習成績の状況等を評価する。
	個別試験(口頭試問)	○	○	○	80	面接は、志望理由や高校での取組みなどを確認する。また、数学・物理等の基礎学力に関する試問も含む。推薦書は得点化せず、面接の際の参考にする。
	個別試験(面接)	○	○	○	20	
	個別試験(推薦書)	○	○	○		
一般 (前期日程)	センター試験	○	○		500	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		400	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○		650	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		200	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。

電気情報系学科

1. 数学・理科・英語などの工学に必要な基礎学力を有している人
2. 工学系の学問分野、特に電気電子情報分野（エネルギー、材料、情報、制御、システム等）に興味を持つ人
3. 工学が社会や自然に及ぼす影響に関心を持つ人
4. 論理的記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力を高め、将来、国際社会で役立つ技術者、研究者となる意欲を持つ人
5. 社会の変化に対応して、自ら学び続ける意欲を持つ人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力			配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
推薦Ⅰ	書類審査(調査書)	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	100	面接には、数学・物理等の基礎学力(教科書レベル)に関する試問も含む。総じてコミュニケーション能力を評価しつつ、基礎学力についても評価する。推薦書は得点化せず、面接の際の参考にする。
	個別試験(推薦書)	○	○	○		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○		400	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	100	面接には、数学・物理等の基礎学力(教科書レベル)に関する試問も含む。総じてコミュニケーション能力を評価しつつ、基礎学力についても評価する。推薦書は得点化せず、面接の際の参考にする。
	個別試験(推薦書)	○	○	○		
	書類審査(調査書)	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○		450	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		350	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○		650	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		200	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。

化学バイオ系学科

1. 自分は何をもって社会に貢献しようとするのか、ということに自分に関心を持ち続けることのできる人
2. 人類の幸福と福祉、健康について、深い興味と問題意識を持っている人
3. 化学に関係した分野に強い関心を持っており、新しい問題点を指摘できる人
4. 生命の仕組みや生物の情報伝達能力に興味がある人
5. 人類の役に立つ新しい生物や物質の発見を志す人
6. 環境にやさしく持続性のある資源やエネルギーの創製に意欲を持っている人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力			配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○		700	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	250	面接は、数学・化学等の基礎学力に関する試問を含む。推薦書は得点化せず、面接の際の参考にする。
	個別試験(推薦書)	○	○	○		
	書類審査(調査書)	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○		700	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		300	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○		700	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		200	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。

社会システム土木系学科

1. 数学・理科・英語などの基礎学力を有している人
2. 広く物事に興味を持ち、幅広く学問を学ぶ積極的な心構えがある人
3. 人類の安全と平和、ならびに健康と福祉について考え得る技術者倫理を持つことができる人
4. 人類と自然との調和を図り、持続的な社会を創造する力を身につける意志がある人
5. 計画・建設・管理技術に関する幅広い知識と技能を身につける意欲がある人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力			配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
AO	1次(調査書)	○		○	20	高校での学習成績の状況等を評価する。英語以外の高難度の資格を取得している場合は加点する。
	1次(志望理由書、自己推薦書)	○	○	○		英語の外部検定試験についても評価する。
	1次(面接)		○	○	30	調査書, 志望理由書, 自己推薦書を活用し面接を行う。
	2次(講義等理解力試験)	○	○		100	入門的な講義の受講及びその内容に関する理解力を問う試験を行う。
	2次(小論文)	○	○		100	現在の社会的な問題に関する課題を出題する。
	2次(面接)		○	○	200	志望理由書及び自己推薦書等を活用し実施する。
	2次(口頭試問)	○	○			英語・数学に關しての基礎的な学力を問う。なお、講義等理解力試験及び小論文の内容を問うこともある。
推薦Ⅰ	書類審査(調査書)	○		○	100	高校での学習成績の状況等を評価する。
	個別試験(口頭試問)	○	○	○	200	面接は、英語・国語・物理・数学等の基礎学力に関する試問を含む。推薦書は得点化せず、面接の際の参考にする。
	個別試験(面接)	○	○	○	200	
	個別試験(推薦書)	○	○	○		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○		650	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(面接)	○	○	○	100	主体性、興味関心、思考力・判断力、社会的関心を評価する。推薦書は得点化せず、面接の際の参考にする。
	個別試験(推薦書)	○	○	○		
	書類審査(調査書)	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○		450	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		300	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○		650	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力を評価する。
	個別試験(教科)	○	○		200	
	自己評価シート 調査書			○	10	自己評価シートと調査書を総合的に評価する。

農 学 部

大学の入学受入れの方針に示した人材像に加え、農学部では、人類の持続的生存と福祉への貢献を目指す次のような人を求めています。

1. 食料、環境、いのちについて強い関心をもち、自主的、自発的に学ぶ意欲を持つ人
2. 国内外で農学の発展に積極的に貢献したいと考えている人

生命環境農学科

生命環境農学科では、大学及び農学部の入学受入れの方針に加え、傾聴力を有し、視野を広げ、創造力を養う意欲をもった、次のような人を求めています。

1. 乾燥地における環境問題や農業の問題の解決を目指す人
2. 地域資源の保全とその利活用を目指す人
3. 有用生物資源の発掘およびその生産と利活用を目指す人
4. 生命現象の解明と応用を通じて人類の生存や生活改善への貢献を目指す人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力							配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題 解決に対する意欲	英語力		
AO	1次(調査書)	○			○				20	高校での学習成績の状況等を評価する。英語以外の高難度の資格を取得している場合は評価する。
	1次(志望理由書、自己推薦書)	○	○	○	○					英語の外部検定試験についても評価する。
	1次(面接)		○	○	○				30	調査書、志望理由書、自己推薦書を活用し面接を行う。
	2次 (課題論文・面接)		○	○	◎		◎		60	面接は、課題論文・出願書類を活用するが、英語等の基礎知識を問う試問も含む。
	2次 (グループディスカッション)				○	◎			40	試験当日に与えられるテーマについて討論する。
推薦Ⅰ(A) の(1)	調査書	◎			○	○			30	調査書は、総合的な観点で「知識・技能」「主体性」「協働性」を評価する。
	推薦書	○	○		○	○	○		70	面接は、英語の基礎知識も問う。
	志望理由書・面接	○	○	○	○	○	◎			
推薦Ⅰ(A) の(2)	資格						◎		50	資格は、「農学の課題解決に対する意欲」を評価する。なお、資格については、募集要項を参照すること。
	調査書	◎			○	○				
	推薦書	○	○		○	○	○		50	面接は、英語の基礎知識も問う。
	志望理由書・面接	○	○	○	○	○	◎			
推薦Ⅰ(B)	調査書	◎			○	○			30	調査書は、総合的な観点で「知識・技能」「主体性」「協働性」を評価する。
	推薦書	○	○		○	○	○		70	面接は、英語の基礎知識も問う。
	志望理由書・面接	○	○	○	○	○	◎			
推薦Ⅰ(C)	英語資格							◎	65	英語能力は、英語外部検定試験を重視して評価する。
	調査書	○			○	○				
	推薦書	○	○		○	○	○		35	面接は、英語の基礎知識も問う。
	志望理由書・面接	○	○	○	○	○	◎	○		

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

入試方式	選抜方法	求める能力							配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 行動力	協働性	農学の課題 解決に対する意欲	リーダー シップ		
推薦Ⅰ(D)	課外活動実績							◎	50	課外活動実績は「リーダーシップ」を評価する。正課外のスポーツ等の課外活動の状況を重視して評価する。
	調査書	○			◎	◎				調査書は、総合的な観点で「知識・技能」「主体性・行動力」「協働性」を評価する。
	推薦書	○	○		○	○	○		50	面接は、志願理由などを問う。
	志望理由書・面接		○	○	○	○	○			

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

入試方式	選抜方法	求める能力							配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	農学の課題 解決に対する意欲	農学・地域 貢献に対する意欲			
推薦Ⅱ(A)	センター試験	○	○						400	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な「知識・技能」「思考力・判断力」を評価する。
	個別試験 (調査書・推薦書・面接)	○	◎	○	○	◎			200	調査書・推薦書は、総合的な観点で「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「農学の課題解決に対する意欲」を評価する。また面接では、「主体性・協働性」を評価する。
推薦Ⅱ(B)	センター試験	○	○						200	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な「知識・技能」「思考力・判断力」を評価する。
	個別試験 (調査書・推薦書・面接)	○	◎	○	○		◎		200	調査書・推薦書は、総合的な観点で「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「農学・地域貢献に対する意欲」を評価する。また面接では、「主体性・協働性」を評価する。
	個別試験 (小論文)	○			○		◎		200	小論文は、「知識・技能」だけでなく、「主体性」「農学・地域貢献に対する意欲」も問う。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○						900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な「知識・技能」「思考力・判断力」を評価する。
	個別試験 (教科)	○	◎	○					200	個別試験は、「思考力・判断力」を特に重視して評価する。
	調査書				○				20	調査書は、「主体性・協働性」を重視して総合的に評価する。
一般 (後期日程)	センター試験	○	○						900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な「知識・技能」「思考力・判断力」を評価する。
	調査書				○				20	調査書は、「主体性・協働性」を重視して総合的に評価する。

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

共同獣医学科

岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科では、動物、人間社会、環境の健全性の維持に貢献し、多様化、高度化、国際化しつつある獣医学に対する社会的要請に対応できる獣医師の養成を目指していきます。そのため、以下に掲げる意欲を持つ人を求めます。

1. 高度な獣医学教育に対応し得る高い総合的学力を備えている人
2. 国際性及び科学的・論理的思考の習得に必要な基礎的な語学力と理系の知識を備えている人
3. 自然や生命に強い興味を持ち、それを探求する意欲を持つ人
4. 獣医学に関わる高い倫理観と使命感、コミュニケーション能力を備える人
5. 獣医師としての目的意識を持ち、獣医学を通じて社会の発展に貢献する意欲を持つ人
6. 公衆衛生や環境衛生、動物の病気の診断・治療等の幅広い分野について強い意識を持って学習に励む人
7. 国際交流に積極的にに関わり、獣医師として世界に貢献する意欲を持つ人

※各入試方式・選抜方法と求める能力の関連

入試方式	選抜方法	求める能力					配点	備考(活用方法など)
		知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	多様性		
推薦Ⅱ	センター試験	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な「知識・技能」「思考力・判断力」を評価する。
	個別試験(面接)		○	○	○	○	1,050	面接は、「表現力」、「主体性・協働性」および「多様性」を特に重視して評価する。
	個別試験(調査書)	○			○	○		
	個別試験(推薦書)				○			
	個別試験(小論文)	○	○	○		○	800	小論文は、「思考力・判断力」および「表現力」を特に重視して評価する。
一般 (前期日程)	センター試験	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力、大学での学習に必要な「知識・技能」「思考力・判断力」を評価する。
	個別試験(教科)	○	◎	○			400	個別試験は、「思考力・判断力」を特に重視して評価する。
	調査書				○		10	調査書は、「主体性・協働性」を重視して総合的に評価する。

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

目 次

1. 募 集 人 員	2
2. 一般入試出願資格	3
3. 一般入試出願期間	3
4. 出願にあたっての注意	3
5. 障がい等のある入学志願者の事前相談	3
6. 入学者選抜方法等	4
7. 一般入試の実施教科・科目等	6
8. アドミッションオフィス入試	1 5
9. 特別入試	1 8
(1) 推薦入試	
① 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さないもの）	1 8
② 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課すもの）	2 4
(2) 帰国子女特別入試	3 7
(3) 社会人特別入試	3 8
10. 私費外国人留学生入試	4 0
11. インターネット出願	4 3
12. 大学案内等の資料請求方法	4 4
13. 入学者選抜試験個人成績の開示	4 6
14. 鳥取大学の紹介（大学案内・入試情報）	4 6

1. 募 集 人 員

学部	学 科 等		入学 定員	募集人員							私 費 外国人 留学生
				前期 日程	後期 日程	アドミッ ション オフィス入試	特別入試				
							推薦入試		帰国 子女	社会人	
							I	II			
地域学部	地域学科	地 域 創 造 コ ー ス	人 6 0	人 3 6	人 1 0	人 1 0	人 4	人	若干人	若干人	若干人
		人 間 形 成 コ ー ス	5 5	3 8	1 3	4					
		国際地域文化コース	5 5	3 0	1 3	6		6			
	計		1 7 0	1 0 4	3 6	2 0	4	6			
医学部	医 学 科※		8 0	6 0				2 0	若干人	若干人	
	生 命 科 学 科		4 0	3 0	5			5			
	保健学科	看 護 学 専 攻	8 0	4 5	5			3 0			
		検査技術科学専攻	4 0	2 0	1 0			1 0			
	計		2 4 0	1 5 5	2 0			6 5			
工学部	機 械 物 理 系 学 科		1 1 5	7 4	3 7		4		若干人	若干人	
	電 気 情 報 系 学 科		1 2 5	8 2	3 1		5	7			
	化 学 バ イ オ 系 学 科		1 0 0	5 4	4 1			5			
	社会システム土木系学科		1 1 0	8 1	1 8	2	4	5			
	計		4 5 0	2 9 1	1 2 7	2	1 3	1 7			
農学部	生 命 環 境 農 学 科		2 2 0	1 1 0	2 5	1 0	3 5	4 0	若干人	若干人	
	共 同 獣 医 学 科		3 5	3 0				5			
	計		2 5 5	1 4 0	2 5	1 0	3 5	4 5			
合 計			1, 1 1 5	6 9 0	2 0 8	3 2	5 2	1 3 3			

(注)

1. 帰国子女及び社会人のための特別入試の募集人員(若干人)は、それぞれの学科等の前期日程の募集人員に含みます。
2. 医学部保健学科看護学専攻前期日程の募集人員(45人)のうち、10人以内は鳥取県看護職員養成枠として募集します。
3. 医学部医学科推薦入試及び保健学科看護学専攻推薦入試には、地域枠推薦による募集人員を含みます。
4. アドミッションオフィス入試及び推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試(前期日程・後期日程)の合格者で補充します。
5. 推薦入試「I」は、大学入試センター試験を課さないものであり、「II」は大学入試センター試験を課すものです。

※医学部医学科では、前期日程で「地域枠(募集人員19人(鳥取県枠12人、兵庫県枠2人、島根県枠5人))」及び推薦入試IIで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠(募集人員5人)」を継続申請予定です。予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。(上表の募集人員にはこの人数は含まれていません。)

2. 一般入試出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験（受験科目については、7.の各学部・学科等の指定する教科・科目を参照）を受験した者

- (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

〔注1〕上記(3)の学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法を問い合わせ願います。

〔問い合わせ先〕 学生部入試課（電話（0857）31-5061）

〔入学資格審査申請期間〕

1回目 令和元年 8月 9日（金）～令和元年 8月23日（金）

2回目 令和元年12月 2日（月）～令和2年 1月17日（金）

〔注2〕アドミッションオフィス入試、特別入試（推薦入試、帰国子女入試、社会人入試）の出願要件及び私費外国人留学生入試の出願資格については、それぞれの項（15ページから41ページ）を参照してください。

3. 一般入試出願期間

令和2年1月27日（月）から2月5日（水）17時まで（必着）

- (1) 出願書類等を郵送する場合は、必ず簡易書留・速達とし、2月5日（水）までに必着となるように郵送してください。これ以降に到着した場合は、2月4日（火）以前の発信局消印があるもの限り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。
- (2) 出願書類等を持参する場合は、9時から17時まで受け付けます。ただし、土曜日、日曜日は受け付けません。

〔注〕アドミッションオフィス入試、特別入試（推薦入試、帰国子女入試、社会人入試）及び私費外国人留学生入試の出願期間については、それぞれの項（15ページから41ページ）を参照してください。

4. 出願にあたっての注意

- (1) 本学の前期日程に出願した者は、他の国公立大学の前期日程に出願できません。また、本学の後期日程に出願した者は、他の国公立大学の後期日程に出願できません。
- (2) 本学の前期日程及び後期日程からそれぞれ一つの学部、学科、専攻等に出願できます。
- (3) 本学の推薦入試に出願した者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試に出願することはできません。

ただし、推薦入試に不合格となった場合に備えて、前期日程で試験を行う大学・学部から一つ、後期日程で試験を行う大学・学部から一つ及び公立大学の中期日程で試験を行う大学・学部から一つの大学・学部に出願することができます。

（本学の工学部電気情報系学科、社会システム土木系学科及び農学部生命環境農学科の推薦入試Ⅰに出願し不合格となった場合は、同一学科の推薦入試Ⅱに出願することができます。）

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）参照

5. 障がい等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、あらかじめ鳥取大学学生部入試課と相談してください。

ただし、体幹及び両上下肢の機能障がいが著しい者で、大学入試センター試験で「代筆解答」を希望する者は令和元年9月3日（火）までにあらかじめ鳥取大学学生部入試課と相談してください。

6. 入学者選抜方法等

(一般入試, アドミッションオフィス入試)

選抜方法等 学部・学科等名				個別学力検査等		個別学力検査等の日程	アドミッションオフィス入試	備 考 〔 欠員の補充の方法等 〕	
				個別学力検査を課する	実技検査等				
					面接を行う				小論文を課する
地域学部	前期日程	地域学科	地域創造コース	×	×	○	2月25日	○	欠員が生じた場合は、追加合格を行うほか、4月1日以降欠員補充を第2次募集を実施することがある。
			人間形成コース	○		×			
			国際地域文化コース	○		×			
	後期日程	地域学科	地域創造コース	×		○	3月12日		
			人間形成コース	○		×			
			国際地域文化コース	×		○			
医学部	前期日程	医 学 科		○	○	×	2月25日 ～26日	×	
		生 命 科 学 科		○	×		2月25日		
		保健学科	看 護 学 専 攻	○	×				
			検査技術科学専攻						
	後期日程	生 命 科 学 科		×	○	○	3月12日		
		保健学科	看 護 学 専 攻		○				
			検査技術科学専攻						
工学部	前期日程	全 学 科		○	×	×	2月25日	○ 1学科 (注1)	
	後期日程	全 学 科		○			3月12日		
農学部	前期日程	生 命 環 境 農 学 科		○	×	×	2月25日	○ 1学科 (注2)	
		共 同 獣 医 学 科							
	後期日程	生 命 環 境 農 学 科		個別学力検査等は課さない					

[備考]

1. 本学は、2段階選抜を実施しません。
2. ○印は該当すること、×印は該当しないことを示します。
3. (注1) …社会システム土木系学科のみ実施します。
4. (注2) …生命環境農学科のみ実施します。

医学部医学科では、前期日程で「地域枠(募集人員19人(鳥取県枠12人, 兵庫県枠2人, 島根県枠5人))」及び推薦入試Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠(募集人員5人)」を継続申請予定です。予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

(特別入試)

学部・学科等名			選 拔 方 法 等		推 薦 入 試					帰国子女入試	社会人入試	備考
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を課さず調査書を主な資料として判定する					推薦入試募集人員				
			個別学力検査及び大学入試センター試験を課さない (推薦入試Ⅰ)	個別学力検査を課さず、大学入試センター試験を課する (推薦入試Ⅱ)	実技検査等							
					面接を行う	小論文を課する						
地域学部	地域学科	地域創造コース	○	×	○	○	4人	○	○			
		人間形成コース	実施しない。									
		国際地域文化コース	×	○	○ (注1)	×	6人					
医学部	医 学 科		×	○	○	×	20人	×	×			
	生 命 科 学 科					×	5人					
	保健学科	看 護 学 専 攻				○	30人				○	
		検査技術科学専攻					10人					
工学部	機 械 物 理 系 学 科		○	×	○	×	4人	○	○			
	電 気 情 報 系 学 科	○	×	5人								
		×	○	7人								
	化 学 バイオ系 学 科		×	○			5人					
	社会システム土木系学科	○	×	4人								
		×	○	5人								
農学部	生 命 環 境 農 学 科		○	×	○	×	35人	○	○			
			×	○		○ (注2)	40人					
	共 同 獣 医 学 科		×	○		○	5人				×	×

〔備考〕

- 印は該当すること、×印は該当しないことを示します。
- (注1) …面接に自己表現を含みます。
- (注2) …募集方法(B)：地域貢献型のみ実施します。

医学部医学科では、前期日程で「地域枠(募集人員19人(鳥取県枠12人、兵庫県枠2人、島根県枠5人))」及び推薦入試Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠(募集人員5人)」を継続申請予定です。予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

7. 一般入試の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
地域学部 地域学科 170人 前期104 後期 36 その他 30	地域創造 コース 60人 前期 36 後期 10 その他 14	前期 2月25日	国語（必須） 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 } 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報 } (注)1,6 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } から1 又は物理、化学、生物、地学から1 } 又は2 英、独、仏、中、韓から1 (注)7,8 〔4教科5（6）科目又は5教科5（6）科目〕	その他	小論文
		後期 3月12日	国語（必須） 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 (注)2,6 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報 } 英、独、仏、中、韓から1 (注)7,8 〔3教科3科目〕	その他	小論文
	人間形成 コース 55人 前期 38 後期 13 その他 4	前期 2月25日	国語（必須） 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 } 数Ⅰ・数A（必須） } 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 (注)6 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } 又は物理、化学、生物、地学から1 (注)3 英、独、仏、中、韓から1 (注)7,8	※数 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } (注)9 英語 } 1教科 選択
		後期 3月12日	〔5教科7（8）科目又は6教科7（8）科目〕	その他	総合問題（高等学校までの学習 一般を前提とし、自然科学及び 人文社会科学に関する設問を与 えて、理解力、思考力、表現力、 論理性など地域教育を勉強する ために必要な素養をみる。）
	国際地域 文化コース 55人 前期 30 後期 13 その他 12	前期 2月25日	国語（必須） 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 } 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 (注)4,6 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } 又は物理、化学、生物、地学から1 (注)3 英、独、仏、中、韓から1 (注)7,8 〔5教科6（7）科目又は6教科6（7）科目〕	※外	英語
		後期 3月12日	国語（必須） 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 } (注)5,6 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報 } から1 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 } 又は2 又は物理、化学、生物、地学から1 } 英、独、仏、中、韓から1 (注)7,8 〔3教科3（4）科目〕	その他	小論文

- (注) 1. 「理科」の第1解答科目と数学のうち、高得点の科目の成績を利用します。ただし、理科で、基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）と、基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を理科の成績とします。
2. 「地理歴史・公民」の第1解答科目と数学のうち、高得点の科目の成績を利用します。
3. 第1解答科目の成績を利用します。ただし、基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）と、基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を利用します。
4. 数学を2科目受験した場合は、高得点の科目の成績を利用します。
5. 「地理歴史・公民」、「理科」の第1解答科目と数学のうち、高得点の科目の成績を利用します。ただし、理科で、基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）と、基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を理科の成績とします。
6. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
7. 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」の成績を含みます。
8. 「英語」の受験者で「リスニング」を欠席した場合は、「リスニング」の得点を0点として取り扱います。
9. 個別学力検査の数学及び外国語は、両教科の受験が可能です。数学及び外国語の両教科を受験した場合は、高得点の教科の成績を用います。
10. ※印を付してある教科は14ページの備考の1を参照してください。
11. 次頁の配点等欄の◆印は選択科目を示します。
12. 大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とし、次頁の配点等欄のとおり換算します。
なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）の得点を次頁の配点等欄のとおり換算します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別 入試等
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	エントリーシート 調査書	配点合計	
センター試験	200	200	◆100	◆100	200				700	AO 推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査							300		300	
計	200	200	◆100	◆100	200		300		1,000	
センター試験	200	◆200	◆200		200				600	
個別学力検査							500		500	
計	200	◆200	◆200		200		500		1,100	
センター試験	200	200	200	100	200				900	AO 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査			◆200		◆200				200	
書類審査								10	10	
計	200	200	200 ◆200	100	200 ◆200			10	1,110	
センター試験	100	100	100	50	100				450	
個別学力検査						300			300	
計	100	100	100	50	100	300			750	
センター試験	400	400	100	100	200				1,200	AO 推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査					400				400	
書類審査								10	10	
計	400	400	100	100	600			10	1,610	
センター試験	200	◆100	◆100	◆100	200				500	
個別学力検査							300		300	
計	200	◆100	◆100	◆100	200		300		800	

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
医学部 240人 前期155 後期20 その他65	医学科	前期 2月25日, 26日	国 地歴・ 公民 数	国語(必須) 世B, 日B, 地理B, } から1 (注)1 倫・政経 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B(必須) 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 (注)5,6 〔5教科7科目〕	※数 ※理 ※外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 英語 面接 } から2
	生命科学科 40人 前期30 後期5 その他5	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語(必須) 世B, 日B, 地理B, } から1 (注)1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B(必須) 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 (注)5,6 〔5教科7科目〕	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 英語 } から2
		後期 3月12日	理 外		その他	面接
	保健 学 科 80人 前期45 後期5 その他30	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語(必須) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, } から1 (注)1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 (注)2,3 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は物理, 化学, 生物から2 (注)4 英, 独, 仏から1 (注)5,6 〔5教科6科目〕	※外	英語
		後期 3月12日	理 外		その他	小論文 面接
	検査技 術科学 専攻 40人 前期20 後期10 その他10	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語(必須) 世B, 日B, 地理B, } から1 (注)1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ・数B(必須) 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 (注)5,6 〔5教科7科目〕	※数 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B } (注)7 英語 } 1教科 選択
		後期 3月12日	理 外		その他	小論文 面接

- (注) 1. 第1解答科目の成績を利用します。(指定する科目を第1解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。)
2. 数学を2科目受験した場合は、高得点の科目の成績を利用します。
3. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
4. 基礎を付していない科目から2科目を選択した場合は、2科目の合計点(200点満点)を配点(100点満点)に換算したものを「理科」の成績とします。
5. 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」の成績を含みます。
6. 「英語」の受験者で「リスニング」を欠席した場合は、「リスニング」の得点を0点として取り扱います。
7. 個別学力検査の数学及び外国語は、両教科の受験が可能です。数学及び外国語の両教科を受験した場合は、高得点の教科の成績を用います。
8. ※印を付してある教科は14ページの備考の1を参照してください。
9. 次頁の配点等欄の◆印は選択科目を示します。
10. 大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を0.8倍(200点満点)したものを「英語」の得点とします。
- なお、リスニングを免除された者は、筆記試験(200点満点)を「英語」の得点とします。

医学部医学科では、前期日程で「地域枠(募集人員19人(鳥取県枠12人, 兵庫県枠2人, 島根県枠5人))」及び推薦入試Ⅱで緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠(募集人員5人)」を継続申請予定です。予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別 入試等
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	自己評価シート 調査書	配点合計	
センター試験	200	100	200	200	200				900	推薦 外国人 追加合格
個別学力検査			200	200	200		100		700	
計	200	100	400	400	400		100		1,600	
センター試験	200	100	200	200	200				900	推薦 外国人 追加合格
個別学力検査			300	300	300				900	
書類審査								20	20	
計	200	100	500	500	500			20	1,820	
センター試験	200	100	200	200	200				900	
個別学力検査							200		200	
計	200	100	200	200	200		200		1,100	
センター試験	200	100	100	100	200				700	推薦 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査					200				200	
書類審査								10	10	
計	200	100	100	100	400			10	910	
センター試験	200	100	100	100	200				700	
個別学力検査						100	100		200	
計	200	100	100	100	200	100	100		900	
センター試験	100	100	200	200	200				800	推薦 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査			◆200		◆200				200	
書類審査								10	10	
計	100	100	200 ◆200	200	200 ◆200			10	1,010	
センター試験	100	100	200	200	200				800	
個別学力検査						100	100		200	
計	100	100	200	200	200	100	100		1,000	

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
工学部 450人 前期291 後期127 その他 32	機械物理系 学科 115人 前期 74 後期 37 その他 4	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1（注） ² 物理（必須） 化学，生物，地学から1 英，独，仏，中，韓から1（注） ^{3,4}	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理基礎・物理 英語 } 1教科（注） ⁵ 選択
		後期 3月12日	外	〔5教科7科目〕	※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B
	電気情報系 学科 125人 前期 82 後期 31 その他 12	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1（注） ² 物理（必須） 化学，生物，地学から1 英，独，仏，中，韓から1（注） ^{3,4}	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理基礎・物理 英語 } 1教科（注） ⁵ 選択
		後期 3月12日	外	〔5教科7科目〕	※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B
	化学バイオ 系学科 100人 前期 54 後期 41 その他 5	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1（注） ² 化学（必須） 物理，生物から1 英，独，仏，中，韓から1（注） ^{3,4}	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 化学基礎・化学， 生物基礎・生物から1 } （注） ⁵ 1教科 英語 選択
		後期 3月12日	外	〔5教科7科目〕	※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B
	社会システ ム土木系学 科 110人 前期 81 後期 18 その他 11	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1（注） ² 物理（必須） 化学，生物，地学から1 英，独，仏，中，韓から1（注） ^{3,4}	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物理基礎・物理 英語 } 1教科（注） ⁵ 選択
		後期 3月12日	外	〔5教科7科目〕	※数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B

（注）1. 第1解答科目の成績を利用します。

2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

3. 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」の成績を含みます。

4. 「英語」の受験者が「リスニング」を欠席した場合は、「リスニング」の得点を0点として取り扱います。

5. 個別学力検査の理科及び外国語は、両教科の受験が可能です。理科及び外国語の両教科を受験した場合は、高得点の教科の成績を用います。

6. ※印を付してある教科は14ページの備考の1を参照してください。

7. 次頁の配点等欄の◆印は選択科目を示します。

8. 大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とし、次頁の配点等欄のとおり換算します。

なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）の得点を次頁の配点等欄のとおり換算します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特別 入試等
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	自己評価シート 調査書	配点合計	
センター試験	100	50	100	150	100		500	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査			200	◆200	◆200		400	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	150 ◆200	100 ◆200	10	910	
センター試験	100	50	100	200	200		650	
個別学力検査			200				200	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	200	200	10	860	
センター試験	100	50	100	100	100		450	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査			200	◆150	◆150		350	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	100 ◆150	100 ◆150	10	810	
センター試験	100	50	100	200	200		650	
個別学力検査			200				200	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	200	200	10	860	
センター試験	100	50	100	200	250		700	推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査			200	◆100	◆100		300	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	200 ◆100	250 ◆100	10	1,010	
センター試験	100	50	100	200	250		700	
個別学力検査			200				200	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	200	250	10	910	
センター試験	100	50	100	100	100		450	AO 推薦 帰国子女 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査			200	◆100	◆100		300	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	100 ◆100	100 ◆100	10	760	
センター試験	100	50	100	200	200		650	
個別学力検査			200				200	
書類審査						10	10	
計	100	50	300	200	200	10	860	

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査 等の区分・ 日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
農学部 255人 前期140 後期 25 その他 90	生命環境 農学科 220人 前期110 後期 25 その他 85	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 ^{(注)2} 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 又は物理、化学、生物、地学から1 ^{(注)3} 英、独、仏、中、韓から1 ^{(注)4,5}	※数 ※理 ※外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物から1 英語 (注)6 1教科 選択
		後期	外	〔5教科6（7）科目〕	個別学力検査等は課さない	
	共同 獣医学科 35人 前期 30 その他 5	前期 2月25日	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理、化学、生物、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 ^{(注)4,5}	※理 ※外	物理基礎・物理、化学基礎・化学、 生物基礎・生物から1 英語 〔5教科7科目〕

(注) 1. 第1解答科目の成績を利用します。

2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

3. 第1解答科目の成績を利用します。ただし、基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）と、基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目の成績を利用します。

4. 外国語の「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニング」の成績を含みます。

5. 「英語」の受験者で「リスニング」を欠席した場合は、「リスニング」の得点を0点として取り扱います。

6. 個別学力検査の数学、理科及び外国語は、最大3教科の受験が可能です。複数教科を受験した場合は、最高得点の教科の成績を用います。

7. ※印を付してある教科は14ページの備考の1を参照してください。

8. 次頁の配点等欄の◆印は選択科目を示します。

9. 大学入試センター試験の「英語」の得点は、生命環境農学科については、筆記試験（200点満点）を0.75倍（150点満点）したものと、リスニング（50点満点）の合計点（200点満点）を用い、共同獣医学科については、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とします。

なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）を「英語」の得点とします。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								特別 入試等
試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	調査書	配点合計	
センター試験	200	100	200	200	200		900	ＡＯ 推薦 帰国子女 社会人 外国人
個別学力検査			◆200	◆200	◆200		200	
書 類 審 査						20	20	
計	200	100	200 ◆200	200 ◆200	200 ◆200	20	1,120	
センター試験	200	100	200	200	200		900	追加合格
書 類 審 査						20	20	
計	200	100	200	200	200	20	920	
センター試験	200	100	200	200	200		900	推薦 外国人 追加合格
個別学力検査				200	200		400	
書 類 審 査						10	10	
計	200	100	200	400	400	10	1,310	

備 考

1. 個別学力検査等に関する注意事項

- ①「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲を出題範囲とします。
- ②「数学B」では「数列」、「ベクトル」の2分野を出題範囲とします。
- ③「物理基礎・物理」は物理基礎、物理の全範囲を出題範囲とします。
- ④「化学基礎・化学」は化学基礎、化学の全範囲を出題範囲とします。
- ⑤「生物基礎・生物」は生物基礎、生物の全範囲を出題範囲とします。
- ⑥「英語」は「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」の5科目を併せて出題します。
出題範囲は以上のとおりです。

2. 大学入試センター試験及び個別学力検査の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教 科	科 目 名 等
国語 → 国	
地理歴史・→ 地歴・ 公 民 公民	「世界史A」→「世A」, 「世界史B」→「世B」 「日本史A」→「日A」, 「日本史B」→「日B」 「現代社会」→「現社」, 「倫理」→「倫」, 「政治・経済」→「政経」 「倫理, 政治・経済」→「倫・政経」
数学 → 数	「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」, 「数学A」→「数A」, 「数学B」→「数B」, 「数学Ⅰ・数学A」→「数Ⅰ・数A」, 「数学Ⅱ・数学B」→「数Ⅱ・数B」, 「簿記・会計」→「簿・会」, 「情報関係基礎」→「情報」
理科 → 理	
外国語 → 外	「英語」→「英」, 「ドイツ語」→「独」, 「フランス語」→「仏」, 「中国語」→「中」, 「韓国語」→「韓」

8. アドミッションオフィス入試

実施学部・学科等名	地 域 学 部		
	地 域 学 科		
	地域創造コース	人間形成コース	国際地域文化コース
募 集 人 員	10人	4人	6人
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みのある者		
求める人物像	(地域創造コース) ●様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人 ●地域の様々な資源を効果的に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人 (人間形成コース) ●教育、保育、心理、教育福祉に高い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人 ●地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人 (国際地域文化コース) ●様々な文化(言語・文学・考古・歴史・芸術など)に関心があり、文化を通して創造的な地域の発展に貢献したい人 ●国際的感性と実践的言語コミュニケーション力を身につけて、多様な文化をもつ人々と関係を構築したい人		
出 願 期 間	令和元年9月2日(月)～9月6日(金)		
入 試 方 法 等	第1次選考	志望理由書、自己推薦書、調査書及び個人面接により総合判定します。	
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して、第2次選考を行います。第2次選考では、自己表現、課題論文、スクーリング等及び個人面接の結果を用いて総合判定します。	
入 試 期 日	第1次選考 (書類選考・面接)	面接：令和元年9月20日(金)～9月29日(日) 選考結果は、令和元年10月8日(火)に本人宛発送します。	
	第2次選考 (課題論文・面接等)	令和元年10月19日(土)・20日(日)	
合 格 発 表 日	令和元年11月1日(金)		
そ の 他	合格者には、大学生活のスタートを応援するために、2泊3日の「合宿研修」(11月中旬)、e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は、合格通知の際にご案内します。		

アドミッションオフィス入試

実施学部・学科等名	工 学 部	
	社会システム土木系学科	
募 集 人 員	2 人	
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みのある者	
求める人物像	●社会や政治、経済に興味があり、新聞や論説をよく読んでいる人 ●日本だけでなく、外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味を持つ人 ●いろいろな事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新たに創造することが好きな人	
出 願 期 間	令和元年9月2日(月)～9月6日(金)	
入 試 方 法 等	第1次選考	志望理由書、自己推薦書、調査書及び個人面接により総合判定します。
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して、第2次選考を行います。第2次選考では、講義等理解力試験、小論文、基礎学力を問う口頭試問及び個人面接の結果を用いて総合判定します。
入 試 期 日	第1次選考 (書類選考・面接)	面接：令和元年9月20日(金)～9月29日(日) 選考結果は、令和元年10月8日(火)に本人宛発送します。
	第2次選考 (講義等理解力試験・面接等)	令和元年10月19日(土)
合 格 発 表 日	令和元年11月1日(金)	
そ の 他	入学後の指導の参考にしますので、以下に指定した大学入試センター試験3教科5科目について、可能な限り受験してください。また、自己採点の結果を報告してください。 数 学：数学Ⅰ・数学A(必須)と(数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎)から1 理 科：物理(必須)と(化学、生物、地学)から1 外国語：英語(リスニング含む) 合格者には、大学生活のスタートを応援するために、2泊3日の「合宿研修」(11月中旬)、e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は、合格通知の際にご案内します。	

アドミッションオフィス入試

実施学部・学科等名	農 学 部	
	生命環境農学科	
募 集 人 員	10人	
出 願 要 件	次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みのある者	
求める人物像	チームワーク重視型 生命環境農学科では、特に次の各号に該当する者 (1) 自ら積極的に学ぶ姿勢を有する者 (2) 傾聴力を有する者 (3) 協調性を有する者	
出 願 期 間	令和元年9月2日(月)～9月6日(金)	
入 試 方 法 等	第1次選考	志望理由書, 自己推薦書, 調査書及び個人面接により総合判定します。
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して, 第2次選考を行います。第2次選考では, 課題論文及びグループディスカッション及び個人面接(英語等の基礎知識を問う試問を含む。)の結果を用いて総合判定します。
入 試 期 日	第1次選考 (書類選考・面接)	面接: 令和元年9月20日(金)～9月29日(日) 選考結果は, 令和元年10月8日(火)に本人宛発送します。
	第2次選考 (課題論文・面接等)	令和元年10月19日(土)・20日(日)
合 格 発 表 日	令和元年11月1日(金)	
そ の 他	合格者には, 大学生活のスタートを応援するために, 2泊3日の「合宿研修」(11月中旬), e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は, 合格通知の際にご案内します。	

9. 特別入試

(1) 推薦入試

①推薦入試 I

実施学部・学科等名	地 域 学 部
	地域学科地域創造コース
募 集 人 員	4 人
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者（推薦できる者は、1高等学校等につき2人以内とする。） (1) 人物、学業成績がともに優れ、地域政策に関心があり、将来、地域づくりにおいてリーダーシップを発揮しようとする意欲がある者 (2) 高等学校等の学習成績概評がA段階である者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、推薦書、自己推薦書（2,000字以内）、調査書、小論文及び面接の結果により総合判定します。
出 願 期 間	令和元年11月 8日（金）～11月12日（火）
入 試 期 日	令和元年11月23日（土）
合 格 発 表 日	令和元年12月 3日（火）
そ の 他	合格者には、大学生活のスタートを応援するために、2泊3日の「合宿研修」、e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は、合格通知の際にご案内します。

推薦入試 I

実施学部・学科等名	工 学 部
	機械物理系学科
募 集 人 員	4 人
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）人物、学業成績がともに優れ、機械、航空宇宙、ロボティクス、物理工学の学習に熱意のある者 （2）高等学校等の学習成績概評がA段階である者 （3）合格した場合は、入学することを確約できる者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、面接（数学、物理等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出 願 期 間	令和元年11月 8日（金）～11月12日（火）
入 試 期 日	令和元年11月23日（土）
合 格 発 表 日	令和元年12月 3日（火）
そ の 他	合格者には、大学生活のスタートを応援するために、2泊3日の「合宿研修」、e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は、合格通知の際にご案内します。

推薦入試 I

実施学部・学科等名	工 学 部
	電気情報系学科
募 集 人 員	5 人
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）人物、学業成績がともに優れ、工学（特に電気電子工学あるいは情報工学分野）の学習に熱意のある者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、面接（数学、物理等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出 願 期 間	令和元年11月 8日（金）～11月12日（火）
入 試 期 日	令和元年11月23日（土）
合 格 発 表 日	令和元年12月 3日（火）
そ の 他	合格者には、大学生活のスタートを応援するために、2泊3日の「合宿研修」、e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は、合格通知の際にご案内します。

実施学部・学科等名	工 学 部
	社会システム土木系学科
募 集 人 員	募集方法（A） 2 人
	募集方法（B） 2 人
出 願 要 件	募集方法（A） 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科，総合学科の工学分野又は農業土木に関する学科を令和 2 年 3 月卒業見込みの者（平成 3 1 年 4 月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和 2 年 3 月 3 1 日までに満 1 8 歳に達する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）人物，学業成績がともに優れ，工学（特に土木工学）の学習に熱意のある者 （2）高等学校等の学習成績概評が A 段階である者 （3）合格した場合は，入学することを確約できる者
	募集方法（B） 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の普通教育を主とする学科及び総合学科を令和 2 年 3 月卒業見込みの者（平成 3 1 年 4 月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和 2 年 3 月 3 1 日までに満 1 8 歳に達する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）人物，学業成績がともに優れ，工学（特に土木工学）の学習に熱意のある者 （2）合格した場合は，入学することを確約できる者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験を課さず，面接（英語，国語，物理，数学等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出 願 期 間	令和元年 1 1 月 8 日（金）～ 1 1 月 1 2 日（火）
入 試 期 日	令和元年 1 1 月 2 3 日（土）
合 格 発 表 日	令和元年 1 2 月 3 日（火）
そ の 他	理数科，英語科などは，本学部では普通教育を主とする学科とみなします。 出願要件に掲げる学科に該当するか不明な場合は，事前に工学部教務係（TEL(0857)31-5186）に照会してください。 合格者には，大学生活のスタートを応援するために，2 泊 3 日の「合宿研修」，e-Learning やレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は，合格通知の際にご案内します。

推薦入試 I

実施学部・学科等名	農 学 部
	生命環境農学科
募 集 人 員	募集方法（A）の（1） 8 人
	募集方法（A）の（2）若干人
	募集方法（B） 1 5 人
	募集方法（C） 7 人程度
	募集方法（D） 5 人程度
出 願 要 件	下記に規定する高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成31年3月に卒業した者（平成30年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者
	募集方法（A）：専門高校対応型 農業、商業、工業等に関する専門教育（「総合的な学習の時間」を含む。）を主とする学科又は総合学科で、専門教育の修得単位数が、25単位以上の学科の高等学校等の長が責任をもって推薦できる者及び次の（1）、（2）のいずれかに該当し、合格した場合は、入学することを確約できる者 （1）一般タイプ 人物、専門教育に係る成績がともに優れ、食料の生産、生物資源の利活用、食品、農業ビジネス、水資源開発や農地・森林の保全管理などに関係する分野の学習に熱意がある者 （2）農林業就業志向タイプ 人物、専門教育に係る成績がともに優れ、卒業後に農林業に就業することを強く希望する者で、農林業に関する高度な資格（例：日本農業技術検定2級以上、農業簿記検定2級以上、スーパー農林水産業士等）を有している者、又は地方自治体の首長等から卒業後の農林業への就業支援をすることを確約された者
	募集方法（B）：普通科高校対応型 普通教育を主とする学科又は総合学科（「総合的な学習の時間」を含む専門教育に関する教科・科目の修得単位数が、25単位未満の学科）の高等学校等の長が責任をもって推薦できる者及び次の各号に該当する者 （1）人物、普通教育に関する成績がともに優れ、食料の生産や流通、環境保全、生物資源の利活用、食品・創薬などに関係する分野の学習に熱意がある者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者

出 願 要 件	募集方法（Ｃ）：グローバル志向重視型 令和２年度農学部推薦入試Ⅰの募集方法（Ａ）又は募集方法（Ｂ）に出願する者で、次の各号に該当し、英語能力を含め高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）様々なフィールドでグローバルに活躍することを目指す者 （２）以下の英語能力のいずれかを有する者（平成２９年１１月１５日以降に受験したものとする。） ①実用英語技能検定試験（英検） ２級以上 ②TOE I C ５００点以上 ③TOEFL P B T ５００点以上 ④TOEFL i B T ６１点以上 ⑤GTEC（３技能） ６００点以上 ⑥GTEC（４技能） １，０００点以上 （３）合格した場合は、入学することを確約できる者
	募集方法（Ｄ）：リーダーシップ重視型又は積極的活動重視型 令和２年度農学部推薦入試Ⅰの募集方法（Ａ）又は募集方法（Ｂ）に出願する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）高等学校在学中に正課外のスポーツ等の課外活動において、中心的な役割を担うなど活躍することで、全国大会、ブロック大会、都道府県大会等において優秀な実績を残すことに顕著に貢献し、今後も意欲的に様々な活動をする意思をもつ者 （２）合格した場合は、入学することを確約できる者
入 試 方 法 等	募集方法（Ａ）（Ｂ）（Ｃ）（Ｄ） 入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、面接（英語等の基礎知識を問う試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。
出 願 期 間	令和元年１１月 ８日（金）～１１月１２日（火）
入 試 期 日	令和元年１１月２３日（土）
合 格 発 表 日	令和元年１２月 ３日（火）
そ の 他	理数科、英語科などは、本学部では普通教育を主とする学科とみなします。 出願要件に掲げる学科に該当するか不明な場合は、事前に農学部教務係（TEL(0857)31-5342）に照会してください。 合格者には、大学生活のスタートを応援するために、２泊３日の「合宿研修」，e-Learningやレポート提出などの入学前教育を実施します。詳細は、合格通知の際にご案内します。

※ 募集方法（A）の合否判定は、（A）の（２）を優先して行い、（A）の（２）で合格者とならなかった場合は、（A）の（１）として選抜の対象となります。

※ 募集方法（C）又は（D）の合否判定は、（C）又は（D）を優先して行い、（C）又は（D）で合格者とならなかった場合、それぞれ（A）、（B）としての選抜の対象となります。なお、（C）と（D）の併願はできません。

※ 募集方法（C）に出願する者は、英検、TOEIC、TOEFL、GTECのいずれかの英語能力を判定できる資料を、必ず提出してください。

※ 募集方法（D）に出願する者は、個人競技又は団体競技等は問いませんが、出願にあたっては以下のことがわかるように顧問教諭等の指導者の所見（様式自由）を提出してください。

- １．所属していたクラブの部員数
- ２．所属していたクラブの実績
- ３．所属していたクラブ内での出願者の実績や役割、クラブの実績との関連性
- ４．出願者の長所・短所
- ５．出願者の将来性

②推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	地 域 学 部																																																																																																												
	地域学科国際地域文化コース																																																																																																												
募 集 人 員	6 人																																																																																																												
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者（平成３１年４月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であつて、令和２年３月３１日までに満１８歳に達する者であり、かつ、令和２年度大学入試センター試験のうち、本コースが定めた所定の全教科・科目を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 (１) 人物、学業成績がともに優れ、以下のいずれかに該当する者 a．言語・文学・考古・歴史を軸に日本の文化を学びたい人 b．グローバルな感覚をもって語学力や現地感覚を身につけたい人 c．様々な文化・芸術に関心をもち、クリエイティヴな力を高め活かしたい人 (２) 合格した場合は、入学することを確約できる者																																																																																																												
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、推薦書、自己推薦書(2,000字以内)、調査書及び面接（自己表現を含む。）の結果により総合判定します。 <table><tr><th colspan="8">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教 科</th><th colspan="7">科 目 名 等</th></tr><tr><td>国</td><td colspan="7">国語（必須）</td></tr><tr><td>地歴・</td><td colspan="7">世B，日B，地理B，</td></tr><tr><td>公民</td><td colspan="7">現社，倫，政経，倫・政経</td></tr><tr><td>数</td><td colspan="7">数Ⅰ・数A，数Ⅱ・数B，簿・会，情報</td></tr><tr><td>理</td><td colspan="7">物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から 2</td></tr><tr><td></td><td colspan="7">又は物理，化学，生物，地学から 1</td></tr><tr><td>外</td><td colspan="7">英，独，仏，中，韓から 1</td></tr></table> から 1 又は 2 〔3教科3（4）科目〕 (注) 1．地理歴史・公民，数学，理科から 2 科目以上受験した場合は、地理歴史・公民，理科の第 1 解答科目と数学のうち高得点の科目の成績を用います。 ただし、理科で、基礎を付した科目（2 科目の合計点を得点とする。）及び基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目を理科の成績とします。 2．数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。 <table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="7">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>面接</th><th>計</th></tr><tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>◆100</td><td>◆100</td><td>◆100</td><td>200</td><td></td><td>500</td><td rowspan="2">800</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>300</td><td>300</td></tr></table> (注) 1．配点欄の◆印は選択科目を示します。 2．大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験(200 点満点)とリスニング(50 点満点)の合計点を 0.8 倍(200 点満点)したものを「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験(200 点満点)を「英語」の得点とします。		大学入試センター試験の利用教科・科目名								教 科	科 目 名 等							国	国語（必須）							地歴・	世B，日B，地理B，							公民	現社，倫，政経，倫・政経							数	数Ⅰ・数A，数Ⅱ・数B，簿・会，情報							理	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から 2								又は物理，化学，生物，地学から 1							外	英，独，仏，中，韓から 1							試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点							合計	備考	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	計	センター試験	200	◆100	◆100	◆100	200		500	800		個別試験						300	300
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																																																																																												
教 科	科 目 名 等																																																																																																												
国	国語（必須）																																																																																																												
地歴・	世B，日B，地理B，																																																																																																												
公民	現社，倫，政経，倫・政経																																																																																																												
数	数Ⅰ・数A，数Ⅱ・数B，簿・会，情報																																																																																																												
理	物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎から 2																																																																																																												
	又は物理，化学，生物，地学から 1																																																																																																												
外	英，独，仏，中，韓から 1																																																																																																												
試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点							合計	備考																																																																																																				
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	計																																																																																																						
センター試験	200	◆100	◆100	◆100	200		500	800																																																																																																					
個別試験						300	300																																																																																																						
出 願 期 間	令和２年１月２１日（火）～１月２４日（金）																																																																																																												
入 試 期 日	令和２年２月 ８日（土）																																																																																																												
合 格 発 表 日	令和２年２月１２日（水）																																																																																																												
そ の 他																																																																																																													

実施学部・学科等名	医 学 部
	医 学 科
募 集 人 員	20人（地域枠5人以内を含む。） 「特別養成枠（募集人員5人）」を申請予定
出 願 要 件	一般枠 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、人物が優秀で、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）医学に興味を持ち、人物が優秀で、高等学校等の学習成績概評がA段階に属する者 ただし、推薦できる者は、1高等学校等につき8人以内とする。（注） （2）合格した場合は、入学することを確約できる者
	地域枠 鳥取県内の高等学校を平成30年3月及び平成31年3月に卒業した者（平成29年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者 （1）医学に興味を持ち、人物が優秀で、高等学校の学習成績概評がA段階に属する者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者 （3）推薦できる人数 1 高等学校9人以内 （内訳） 卒業見込者：1 高等学校につき一般枠を含め8人以内（注） 既卒者：1 人以内 （4）入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者 ※出願後に出願区分を変更することはできませんので、鳥取県の奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。奨学金制度の詳細については、推薦入試Ⅱ学生募集要項及び鳥取県のホームページで必ず確認をしてください。
	特別養成枠（申請予定） 鳥取県から「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」（※）の決定を受けている者で、高等学校を平成30年3月及び平成31年3月に卒業した者（平成29年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）並びに令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校長が責任をもって推薦できる者 （1）医学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者 （3）推薦できる人数 卒業見込者：1 高等学校につき一般枠を含め8人以内（注） 既卒者：推薦人数の制限はない （4）入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者 ※「鳥取県緊急医師確保対策奨学金の予約奨学生」については、鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課医療人材確保室（TEL（0857）26-7195）までお問い合わせください。

（注）一般枠，地域枠，特別養成枠の人数の合計。

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠（募集人員5人）」を継続申請予定です。
 予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

推薦入試Ⅱ

入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合判定します。																																												
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																												
	教 科		科 目 名 等																																										
	国 地歴・ 公民 数 理 外		国語（必須） 世 B，日 B，地理 B， 倫・政経 数Ⅰ・数 A（必須） 数Ⅱ・数 B（必須） 物理，化学，生物から 2 英，独，仏から 1 から 1 〔5 教科 7 科目〕																																										
	(注) 地理歴史・公民で 2 科目受験した場合は、第 1 解答科目の成績を用います。(指定する科目を第 1 解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。)																																												
出 願 期 間	<table><tr><td rowspan="2">試験の 区 分</td><td colspan="7">大学入試センター試験・個別試験等の配点</td><td rowspan="2">合計</td><td rowspan="2">備考</td></tr><tr><td>国語</td><td>地歴・公民</td><td>数学</td><td>理科</td><td>外国語</td><td>面接</td><td>計</td></tr><tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">1, 000</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td></tr></table>										試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点							合計	備考	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	計	センター試験	200	100	200	200	200		900	1, 000		個別試験						100	100
	試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点							合計	備考																																			
		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	計																																					
	センター試験	200	100	200	200	200		900	1, 000																																				
	個別試験						100	100																																					
(注) 大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200 点満点）とリスニング（50 点満点）の合計点を 0.8 倍（200 点満点）したものを「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200 点満点）を「英語」の得点とします。																																													
令和元年 1 2 月 1 1 日（水）～1 2 月 1 7 日（火）																																													
入 試 期 日	令和 2 年 2 月 8 日（土）																																												
合 格 発 表 日	令和 2 年 2 月 1 2 日（水）																																												
そ の 他	・高等学校の卒業年月と出願区分については、以下のとおりです。（特別養成枠は申請予定）																																												
	<table><tr><td>出願区分</td><td>一般枠</td><td>地域枠 （鳥取県内の高等学校に限る）</td><td>特 別 養成枠</td></tr><tr><td>卒業年月</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成 3 1 年 4 月～令和 2 年 3 月(卒業見込み)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>平成 3 0 年 4 月～平成 3 1 年 3 月</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>平成 2 9 年 4 月～平成 3 0 年 3 月</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>										出願区分	一般枠	地域枠 （鳥取県内の高等学校に限る）	特 別 養成枠	卒業年月				平成 3 1 年 4 月～令和 2 年 3 月(卒業見込み)	○	○	○	平成 3 0 年 4 月～平成 3 1 年 3 月	×	○	○	平成 2 9 年 4 月～平成 3 0 年 3 月	×	○	○															
	出願区分	一般枠	地域枠 （鳥取県内の高等学校に限る）	特 別 養成枠																																									
	卒業年月																																												
	平成 3 1 年 4 月～令和 2 年 3 月(卒業見込み)	○	○	○																																									
平成 3 0 年 4 月～平成 3 1 年 3 月	×	○	○																																										
平成 2 9 年 4 月～平成 3 0 年 3 月	×	○	○																																										
※特別養成枠が認められた場合。																																													
・鳥取県には、推薦入試Ⅱ地域枠及び特別養成枠入学者を対象とした奨学金制度が設けられています。出願にあたっては、奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。奨学金については鳥取県のホームページ等で確認をしてください。																																													
・出願後に出願区分を変更することはできません。																																													
・地域枠と特別養成枠の併願はできません。																																													
・卒業見込者で、「一般枠と地域枠の両方」及び「一般枠と特別養成枠の両方」の区分で出願した者は、それぞれ「地域枠」及び「特別養成枠」を優先して選抜し、「地域枠」及び「特別養成枠」で合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。																																													

緊急医師確保対策に基づく「特別養成枠 (募集人員 5 人)」を継続申請予定です。
予定であり、変更があり得ますので、学生募集要項及びホームページで必ず確認してください。

推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	医 学 部																																																																																							
	生 命 科 学 科																																																																																							
募 集 人 員	5 人																																																																																							
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者（平成３１年４月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和２年３月３１日までに満１８歳に達する者であり、かつ、令和２年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （１）生命科学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 （２）合格した場合は、入学することを確約できる者																																																																																							
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合判定します。																																																																																							
	<table><tr><th colspan="8">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教 科</th><th colspan="7">科 目 名 等</th></tr><tr><td>国</td><td colspan="7">国語（必須）</td></tr><tr><td>地歴・</td><td colspan="7">世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，</td></tr><tr><td>公民</td><td colspan="7">現社，倫，政経，倫・政経</td></tr><tr><td>数</td><td colspan="7">数Ⅰ・数Ａ（必須）</td></tr><tr><td></td><td colspan="7">数Ⅱ・数Ｂ（必須）</td></tr><tr><td>理</td><td colspan="7">物理，化学，生物から２</td></tr><tr><td>外</td><td colspan="7">英，独，仏から１</td></tr><tr><td colspan="8">〔５教科７科目〕</td></tr></table>								大学入試センター試験の利用教科・科目名								教 科	科 目 名 等							国	国語（必須）							地歴・	世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，							公民	現社，倫，政経，倫・政経							数	数Ⅰ・数Ａ（必須）								数Ⅱ・数Ｂ（必須）							理	物理，化学，生物から２							外	英，独，仏から１							〔５教科７科目〕							
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																																																																							
	教 科	科 目 名 等																																																																																						
	国	国語（必須）																																																																																						
地歴・	世Ｂ，日Ｂ，地理Ｂ，																																																																																							
公民	現社，倫，政経，倫・政経																																																																																							
数	数Ⅰ・数Ａ（必須）																																																																																							
	数Ⅱ・数Ｂ（必須）																																																																																							
理	物理，化学，生物から２																																																																																							
外	英，独，仏から１																																																																																							
〔５教科７科目〕																																																																																								
センター試験の数学・理科・外国語の合計が概ね７０％に満たない場合は、合格者となりえないことがあります。 （注）地理歴史・公民で２科目受験した場合は、第１解答科目の成績を用います。（指定する科目を第１解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。）																																																																																								
<table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="7">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・ 公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>面接</th><th>計</th></tr><tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">1,100</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>200</td><td>200</td></tr></table>								試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点							合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	計	センター試験	200	100	200	200	200		900	1,100		個別試験						200	200																																														
試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考																																																																														
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接	計																																																																																	
センター試験	200	100	200	200	200		900	1,100																																																																																
個別試験						200	200																																																																																	
（注）大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）を「英語」の得点とします。																																																																																								
出 願 期 間	令和２年１月２１日（火）～１月２７日（月）																																																																																							
入 試 期 日	令和２年２月 ８日（土）																																																																																							
合 格 発 表 日	令和２年２月１２日（水）																																																																																							
そ の 他																																																																																								

推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	医 学 部
	保健学科看護学専攻
募 集 人 員	30人（地域枠10人以内を含む。）
出 願 要 件	一般枠 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）次のいずれかに該当する者（なお、bに該当する者をaで推薦することはできません。） a. 医療に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 ただし、推薦できる者は、1高等学校等につき5人以内とする。 b. 看護学の修得に熱意を持ち、人物・学力が優秀で、高等学校等の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者 ただし、推薦できる者は、1高等学校等につき1人以内とする。 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者
	地域枠 将来、鳥取県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）又は看護教員としてその業務に従事しようとする者で、原則として鳥取県内の高等学校を平成31年3月に卒業した者（平成30年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校長等の長が責任をもって推薦できる者 （1）次のいずれかに該当する者（なお、bに該当する者をaで推薦することはできません。） a. 医療に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 ただし、推薦できる者は、1高等学校につき6人以内とする。 （内訳） 卒業見込者：一般枠を含め5人以内 既卒者：1人以内 b. 看護学の修得に熱意を持ち、人物・学力が優秀で、高等学校の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者 ただし、推薦できる者は、1高等学校につき1人以内とする。 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者 （3）入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者

入 試 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文及び面接の結果により総合判定します。																																						
	<table><tr><th colspan="10">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th colspan="2">教 科</th><th colspan="8">科 目 名 等</th></tr><tr><td colspan="2">国 地歴・ 公民 数 理 外</td><td colspan="8">国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 物理基礎，化学基礎，生物基礎から2 又は物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 〔5教科6科目〕</td></tr></table>	大学入試センター試験の利用教科・科目名										教 科		科 目 名 等								国 地歴・ 公民 数 理 外		国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 物理基礎，化学基礎，生物基礎から2 又は物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 〔5教科6科目〕															
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																						
	教 科		科 目 名 等																																				
	国 地歴・ 公民 数 理 外		国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1 物理基礎，化学基礎，生物基礎から2 又は物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 〔5教科6科目〕																																				
(注) 1. 地理歴史・公民で2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を用います。(指定する科目を第1解答科目で受験していない場合，出願資格がありません。)																																							
2. 数学を2科目受験した場合は，高得点の科目の成績を用います。 また，理科で基礎を付していない科目から2科目を選択した場合は，2科目の合計点(200点満点)を配点(100点満点)に換算したものを「理科」の成績とします。 3. 数学で，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。																																							
<table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="8">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th>合計</th><th>備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>小論文</th><th>面接</th><th>計</th><th></th></tr><tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td></td><td></td><td>700</td><td rowspan="2">900</td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table>	試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計		センター試験	200	100	100	100	200			700	900	個別試験						100	100	200
試験の 区 分		大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考																												
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計																															
センター試験	200	100	100	100	200			700	900																														
個別試験						100	100	200																															
	(注) 大学入試センター試験の「英語」の得点は，筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を0.8倍(200点満点)したものを「英語」の得点とします。 なお，リスニングを免除された者は，筆記試験(200点満点)を「英語」の得点とします。																																						
出 願 期 間	令和元年12月11日(水)～12月17日(火)																																						
入 試 期 日	令和2年 2月 8日(土)																																						
合 格 発 表 日	令和2年 2月12日(水)																																						
そ の 他	・鳥取県内高等学校の既卒者は「地域枠」のみ，卒業見込者については「一般枠」，「地域枠」及び「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願できます。 ・「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した者は「地域枠」を優先して選抜し，「地域枠」で合格者とならなかった場合，「一般枠」として選抜の対象になります。 ・鳥取県には，地域枠推薦入学者を対象とした奨学金が設けられています。																																						

推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	医 学 部																																														
	保健学科検査技術科学専攻																																														
募 集 人 員	1 0 人																																														
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であつて、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）医療に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 ただし、推薦できる者は、1高等学校等につき2人以内とする。 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者																																														
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書、小論文及び面接の結果により総合判定します。 <table><tr><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教 科</th><th>科 目 名 等</th></tr><tr><td>国 地歴・ 公民 数 理 外</td><td>国語（必須） 世B，日B，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 〔5教科7科目〕</td></tr></table> （注）地理歴史・公民で2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。（指定する科目を第1解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。） <table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="8">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・ 公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>小論文</th><th>面接</th><th>計</th></tr><tr><td>センター試験</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td></td><td>800</td><td rowspan="2">1,000</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table> （注）大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）を「英語」の得点とします。		大学入試センター試験の利用教科・科目名		教 科	科 目 名 等	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世B，日B，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 〔5教科7科目〕	試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計	センター試験	100	100	200	200	200			800	1,000		個別試験						100	100	200
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																														
	教 科	科 目 名 等																																													
	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世B，日B，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理，化学，生物から2 英，独，仏から1 〔5教科7科目〕																																													
試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考																																					
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計																																							
センター試験	100	100	200	200	200			800	1,000																																						
個別試験						100	100	200																																							
出 願 期 間	令和元年12月11日（水）～12月17日（火）																																														
入 試 期 日	令和2年 2月 8日（土）																																														
合 格 発 表 日	令和2年 2月12日（水）																																														
そ の 他																																															

実施学部・学科等名	工 学 部																																																											
	電気情報系学科																																																											
募 集 人 員	7 人																																																											
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者（高等専門学校第3学年修了者又は令和2年3月修了見込みの者を含む。），あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験のうち、本学科が定めた所定の全教科・科目を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）人物、学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者																																																											
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、面接（基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。 <table><tr><th colspan="10">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教 科</th><th colspan="9">科 目 名 等</th></tr><tr><td>数</td><td colspan="9">数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1</td></tr><tr><td>理</td><td colspan="9">物理，化学，生物，地学から1</td></tr><tr><td>外</td><td colspan="9">英，独，仏，中，韓から1</td></tr></table> 〔3教科4科目〕 （注）1．数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。 2．理科の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。										大学入試センター試験の利用教科・科目名										教 科	科 目 名 等									数	数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1									理	物理，化学，生物，地学から1									外	英，独，仏，中，韓から1								
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																																											
	教 科	科 目 名 等																																																										
	数	数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿・会，情報から1																																																										
	理	物理，化学，生物，地学から1																																																										
外	英，独，仏，中，韓から1																																																											
<table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="8">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・ 公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>面接・ 推薦書</th><th>調査書</th><th>計</th></tr><tr><td>センター試験</td><td></td><td></td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td><td>400</td><td rowspan="3">550</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td></td><td>100</td></tr><tr><td>書類審査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td>50</td></tr></table> （注）大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とし、上表の配点欄のとおり換算します。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）の得点を上表の配点欄のとおり換算します。										試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接・ 推薦書	調査書	計	センター試験			200	100	100			400	550		個別試験						100		100	書類審査							50	50			
試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計		備考																																																	
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接・ 推薦書	調査書	計																																																				
センター試験			200	100	100			400	550																																																			
個別試験						100		100																																																				
書類審査							50	50																																																				
出 願 期 間	令和2年 1月21日（火）～1月24日（金）																																																											
入 試 期 日	令和2年 2月 7日（金）																																																											
合 格 発 表 日	令和2年 2月12日（水）																																																											
そ の 他																																																												

推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	工 学 部																																																
	化学バイオ系学科																																																
募 集 人 員	5 人																																																
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験のうち、本学科が定めた所定の全教科・科目を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）人物、学業成績がともに優れ、工学（特に化学、バイオテクノロジー）の学習に熱意のある者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者																																																
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、面接（数学・化学等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。 <table><tr><th colspan="3">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教 科</th><th colspan="2">科 目 名 等</th></tr><tr><td>国 地歴・ 公民 数 理 外</td><td colspan="2">国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 化学（必須） 物理、生物から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕</td></tr></table>		大学入試センター試験の利用教科・科目名			教 科	科 目 名 等		国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 化学（必須） 物理、生物から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕																																							
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																																
	教 科	科 目 名 等																																															
	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 化学（必須） 物理、生物から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕																																															
（注）1. 地理歴史・公民を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。 2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。																																																	
<table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="8">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・ 公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>面接・ 推薦書</th><th>調査書</th><th>計</th></tr><tr><td>センター試験</td><td>100</td><td>50</td><td>100</td><td>200</td><td>250</td><td></td><td></td><td>700</td><td rowspan="3">1,000</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>250</td><td></td><td>250</td></tr><tr><td>書類審査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td>50</td></tr></table>		試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接・ 推薦書	調査書	計	センター試験	100	50	100	200	250			700	1,000		個別試験						250		250	書類審査							50	50
試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考																																							
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接・ 推薦書	調査書	計																																									
センター試験	100	50	100	200	250			700	1,000																																								
個別試験						250		250																																									
書類審査							50	50																																									
（注）大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とし、上表の配点欄のとおり換算します。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）の得点を上表の配点欄のとおり換算します。																																																	
出 願 期 間	令和2年 1月21日（火）～1月24日（金）																																																
入 試 期 日	令和2年 2月 7日（金）																																																
合 格 発 表 日	令和2年 2月12日（水）																																																
そ の 他																																																	

推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	工 学 部																																																
	社会システム土木系学科																																																
募 集 人 員	5 人																																																
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験のうち、本学科が定めた所定の全教科・科目を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）人物、学業成績がともに優れ、工学（特に経営工学）の学習に熱意のある者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者																																																
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、面接及び出願書類により総合判定します。																																																
	<table><tr><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教 科</th><th>科 目 名 等</th></tr><tr><td>国 地歴・ 公民 数 理 外</td><td>国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 物理（必須） 化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕</td></tr></table>		大学入試センター試験の利用教科・科目名		教 科	科 目 名 等	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 物理（必須） 化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕																																									
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																																
	教 科	科 目 名 等																																															
	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B、簿・会、情報から1 物理（必須） 化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕																																															
（注）1. 地理歴史・公民を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。 2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。																																																	
<table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="8">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・ 公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>面接・ 推薦書</th><th>調査書</th><th>計</th></tr><tr><td>センター試験</td><td>100</td><td>50</td><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td></td><td></td><td>650</td><td rowspan="3">800</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td><td></td><td>100</td></tr><tr><td>書類審査</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td>50</td></tr></table>		試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接・ 推薦書	調査書	計	センター試験	100	50	200	200	100			650	800		個別試験						100		100	書類審査							50	50
試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考																																							
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接・ 推薦書	調査書	計																																									
センター試験	100	50	200	200	100			650	800																																								
個別試験						100		100																																									
書類審査							50	50																																									
（注）大学入試センター試験の「英語」の得点は、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とし、上表の配点欄のとおり換算します。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）の得点を上表の配点欄のとおり換算します。																																																	
出 願 期 間	令和2年 1月21日（火）～1月24日（金）																																																
入 試 期 日	令和2年 2月 7日（金）																																																
合 格 発 表 日	令和2年 2月12日（水）																																																
そ の 他																																																	

推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	農 学 部																	
	生命環境農学科																	
募 集 人 員	40人（地域貢献型5人程度を含む）																	
出 願 要 件	募集方法（A）：課題探求型 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成31年3月に卒業した者（平成30年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 （1）食料の生産や流通、環境保全、生物資源の利活用、食品・創薬などに関係する分野における課題探求に熱意のある者で次のいずれかに該当する者 a. 高等学校の学習における特定の教科・科目に関する秀でた能力を有する者 b. 人物が優れている者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者																	
	募集方法（B）：地域貢献型 上記募集方法（A）「課題探求型」の出願要件を満たす者で、地域の活性化に貢献しようとする強い意思を有する者																	
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書、小論文（地域貢献型出願者のみ）及び面接（科学の一般常識を問う試問を含む。）の結果により総合判定します。																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr> <tr> <th>教 科</th><th>科 目 名 等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>国語（近代以降の文章）</td></tr> <tr> <td>地歴・</td><td>世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>現社、倫、政経、倫・政経</td></tr> <tr> <td>数</td><td>数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報</td></tr> <tr> <td>理</td><td>物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2</td></tr> <tr> <td></td><td>又は物理、化学、生物、地学から1</td></tr> <tr> <td>外</td><td>英、独、仏、中、韓から1</td></tr> </tbody> </table> 〔3教科3（4）科目〕 （注）1. 国語、地理歴史・公民及び数学から2科目以上受験した場合は、地理歴史・公民の第1解答科目と国語、数学のうち高得点の科目の成績を用います。 また、理科の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）及び基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目を理科の成績とします。 2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教 科	科 目 名 等	国	国語（近代以降の文章）	地歴・	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、	公民	現社、倫、政経、倫・政経	数	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報	理	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2		又は物理、化学、生物、地学から1	外
大学入試センター試験の利用教科・科目名																		
教 科	科 目 名 等																	
国	国語（近代以降の文章）																	
地歴・	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、																	
公民	現社、倫、政経、倫・政経																	
数	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報																	
理	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2																	
	又は物理、化学、生物、地学から1																	
外	英、独、仏、中、韓から1																	

入 試 方 法 等	学科	試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点							合計	備考	
			国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・ 調査書・ 推薦書			計
	生命環境 農学科（A）	センター試験	◆100	◆100	◆100	100	200			400	600	
		個別試験							200	200		
	生命環境 農学科（B）	センター試験	◆50	◆50	◆50	50	100			200	600	
		個別試験						200	200	400		
（注） 1．配点欄の◆印は選択科目を示します。 2．大学入試センター試験の「英語」の得点は、生命環境農学科（募集方法 A）については、筆記試験（200 点満点）を 0.75 倍（150 点満点）したものと、リスニング（50 点満点）の合計点（200 点満点）を、生命環境農学科（募集方法 B）については、募集方法（A）の合計点を 0.5 倍（100 点満点）したものを「英語」の得点とします。 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200 点満点）を「英語」の得点とします。												
出 願 期 間	令和 2 年 1 月 2 1 日（火）～1 月 2 4 日（金）											
入 試 期 日	令和 2 年 2 月 7 日（金） ， 8 日（土）											
合 格 発 表 日	令和 2 年 2 月 1 2 日（水）											
そ の 他												

※ 募集方法（B）「地域貢献型」の合否判定は，（B）を優先して行い，（B）で合格者とならなかった場合，（A）「課題探求型」としての選抜の対象となります。

推薦入試Ⅱ

実施学部・学科等名	農 学 部																																						
	共同獣医学科																																						
募 集 人 員	5 人																																						
出 願 要 件	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和２年３月卒業見込みの者，あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であって，令和２年３月３１日までに満１８歳に達する者であり，かつ，令和２年度大学入試センター試験を受験する者で，次の各号に該当し，高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 (１) 人物及び学力が優秀であり，獣医学に強い関心を持つ者 (２) 獣医学を学ぶ強い意欲と，６年間の修学を継続する強い意志を持つ者 (３) 獣医師の社会的役割を十分に理解し，かつ，高いコミュニケーション能力を備える者 (４) 合格した場合は，入学することを確約できる者																																						
入 試 方 法 等	入学者の選抜は，大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文及び面接（科学の一般常識を問う試問を含む。）の結果により総合判定します。																																						
	<table><tr><th colspan="2">大学入試センター試験の利用教科・科目名</th></tr><tr><th>教 科</th><th>科 目 名 等</th></tr><tr><td>国 地歴・ 公民 数 理 外</td><td>国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理，化学，生物，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕</td></tr></table>	大学入試センター試験の利用教科・科目名		教 科	科 目 名 等	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理，化学，生物，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕																																
	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																						
	教 科	科 目 名 等																																					
	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B， 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B（必須） 物理，化学，生物，地学から2 英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕																																					
(注) 地理歴史・公民で2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を用います。																																							
<table><tr><th rowspan="2">試験の 区 分</th><th colspan="8">大学入試センター試験・個別試験等の配点</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>国語</th><th>地歴・ 公民</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>小論文</th><th>面接・ 調査書・ 推薦書</th><th>計</th></tr><tr><td>センター試験</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>200</td><td></td><td></td><td>900</td><td rowspan="2">2,750</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>個別試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>800</td><td>1,050</td><td>1,850</td></tr></table>	試験の 区 分	大学入試センター試験・個別試験等の配点								合計	備考	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・ 調査書・ 推薦書	計	センター試験	200	100	200	200	200			900	2,750		個別試験						800	1,050	1,850
試験の 区 分		大学入試センター試験・個別試験等の配点										合計	備考																										
	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・ 調査書・ 推薦書	計																															
センター試験	200	100	200	200	200			900	2,750																														
個別試験						800	1,050	1,850																															
	(注) 大学入試センター試験の「英語」の得点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とします。 なお，リスニングを免除された者は，筆記試験（200点満点）を「英語」の得点とします。																																						
出 願 期 間	令和元年１２月１１日（水）～１２月１７日（火）																																						
入 試 期 日	令和２年 ２月 ７日（金），８日（土）																																						
合 格 発 表 日	令和２年 ２月１２日（水）																																						
そ の 他																																							

(2) 帰国子女特別入試

実施学部・学科等名	地域学部 地域学科全コース 工 学 部 全学科 農 学 部 生命環境農学科
募 集 人 員	若 干 人
出 願 要 件	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の(1)～(8)のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を2018年4月1日から2020年3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者。ただし、12年の課程のうち、少なくとも外国において最後の2学年を継続して学校教育を受けていること(外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。) (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に、2018年又は2019年に合格した者で、2020年3月31日までに18歳に達する者 (3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを2018年4月1日から2020年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者。ただし、11年の課程のうち、少なくとも外国において最後の2学年を継続して学校教育を受けていること。 (4) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を2018年又は2019年に授与された者 (5) 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2018年又は2019年に授与された者 (6) 外国において、フランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格証書を2018年又は2019年に授与された者 (7) 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を2018年又は2019年に授与された者 (8) 外国において、国際的な評価団体(WASC, CISC, ACSI)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を2018年4月1日から2020年3月31日までに修了した者及び修了見込みの者。ただし、12年の課程のうち、少なくとも外国において最後の2学年を継続して学校教育を受けていること。
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、出願書類、小論文の成績及び面接(工学部は基礎学力に関する試問を含む。)の結果により総合判定します。
出 願 期 間	2019年12月11日(水)～12月17日(火)
入 試 期 日	(工 学 部) 2020年 2月 7日(金) (農 学 部) 2月 7日(金), 8日(土) (地域学部) 2月 8日(土)
合 格 発 表 日	2020年 2月12日(水)
そ の 他	

(3) 社会人特別入試

実施学部・学科等名	地域学部 地域学科全コース 工 学 部 全学科 農 学 部 生命環境農学科
募 集 人 員	若 干 人
出 願 要 件	令和2年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を5年以上有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、出願書類、小論文の成績及び面接(工学部は基礎学力に関する試問を含む。)の結果により総合判定します。
出 願 期 間	令和元年12月11日(水)～12月17日(火)
入 試 期 日	(工 学 部) 令和2年 2月 7日(金) (農 学 部) 2月 7日(金), 8日(土) (地域学部) 2月 8日(土)
合 格 発 表 日	令和2年 2月12日(水)
そ の 他	

社会人特別入試

実施学部・学科等名	医学部 保健学科
募 集 人 員	若 干 人
出 願 要 件	令和2年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を3年以上有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
入 試 方 法 等	入学者の選抜は、大学入試センター試験を課さず、出願書類、小論文（英文で出題する場合もあり）の成績及び面接（基礎学力に関する試問を含む。）の結果により総合判定します。
出 願 期 間	令和元年12月11日（水）～12月17日（火）
入 試 期 日	令和2年 2月 8日（土）
合 格 発 表 日	令和2年 2月12日（水）
そ の 他	

10. 私費外国人留学生入試

実施学部・学科等名	全学部全学科
募 集 人 員	若 干 人 (注) 志望は、いずれか一つの学部、学科、専攻、コースに限ります。
出 願 資 格	日本国籍を有しない者で、次の(1)～(6)のいずれかに該当し、かつ、日本学生支援機構が実施する2019年度日本留学試験で志願する学部・学科等の指定する科目を受験している者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者 (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者 (6) 外国において、国際的な評価団体(WASC, CIS, ACSI)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び2020年3月31日までに修了見込みの者 【在留資格についての注意】 出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、大学入学に支障のない在留資格を有すること、又は、取得できる見込みであること。 ※事前に出願資格の確認を行いますので、出願希望者は、12月6日(金)(必着)までに下記の書類を入試課まで提出してください。これ以降に到着した場合は、次の場合に限り受け付けますので、郵便事情を十分考慮して発送してください。 ・国内から郵送の場合、12月5日(木)以前の発信局消印があるもの ・海外から郵送の場合、12月4日(水)以前の発信局消印があるもの 出願書類等を持参する場合は、9時から17時まで受け付けます。ただし、土曜日、日曜日は受け付けません。 <u>なお、12月6日(金)までに<u>出願資格確認申請を行わなければ、出願することはできません。</u></u> 【出願資格確認申請提出書類】 ①「私費外国人留学生入試出願資格確認申請書」 ②最終出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の卒業証明書の写し又は出願資格を証明するものの写し ③日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し(両面)等の在留資格が記載されたものを、その他の者はパスポートの写しを提出してください。
入 試 方 法 等	大学入試センター試験を課さず、学力検査等の成績、日本留学試験の成績を総合して判定します。 (学力検査等及び日本留学試験の科目は、42ページの「日本留学試験の試験区分の指定及び学力検査科目等」を参照してください。)

出 願 期 間	2020年 1月27日（月）～2月5日（水） 出願書類等を郵送する場合は、必ず書留速達とし、2月5日（水）までに必着となるように郵送してください。これ以降に到着した場合は、次の場合に限り受け付けますので、郵便事情を十分考慮して発送してください。 ・国内から郵送の場合、2月4日（火）以前の発信局消印があるもの ・海外から郵送の場合、2月2日（日）以前の発信局消印があるもの 出願書類等を持参する場合は、9時から17時まで受け付けます。ただし、土曜日、日曜日は受け付けません。
入 試 期 日	2020年 2月25日（火）
合 格 発 表 日	2020年 3月 6日（金）
そ の 他	受験に関する照会は、入試課あてにメールによって行ってください。 学生部入試課 E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp 「日本留学試験」については、下記へ照会してください。 独立行政法人 日本学生支援機構（留学生事業部留学試験課） 所在地 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電 話 （03）6407-7457 ホームページアドレス https://www.jasso.go.jp/

※日本留学試験の試験区分の指定及び学力検査科目等

学部	学 科 等		日 本 留 学 試 験			個 別 学 力 試 験	備 考
			受 験 科 目	出題言語	成績利用		
地域学部	地域学科	地域創造コース	日 本 語 総合科目 数学（コース 1 又は コース 2）	日本語	6月/11月	小論文（日本語による） 面接	
		人間形成コース	日 本 語 総合科目	日本語 又は英語	6月/11月		
		国際地域文化 コース	日 本 語 総合科目	日本語 又は英語	6月/11月		
医学部	医学科 生命科学科	日本語 数学（コース 2） 理科（物理，化学， 生物から 2 科目）	日本語	11月	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 理科（物理基礎・物理，化学基礎・化学， 生物基礎・生物から 2 科目） 面接		
	保健学科	日本語 数学（コース 1 又は コース 2） 理科（物理，化学， 生物から 2 科目）	日本語	11月	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接		
工学部	全学科	日本語 数学（コース 2） 理科（物理，化学， 生物から 2 科目）	日本語	6月/11月	数学（数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ⅳ・数Ⅴ） 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接（基礎学力に関する試問を含む。）		
農学部	全学科	日本語 数学（コース 2） 理科（物理，化学， 生物から 2 科目）	日本語	6月/11月	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コミュニケーション 英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ） 面接		

（注）個別学力試験の「数学」，「英語」及び「理科」の試験問題は，一般入試と同じものです。14ページの備考1を参照してください。

11. インターネット出願

全ての入試において、出願はインターネット出願のみとします。

本学のホームページから学生募集要項のデータをダウンロードして入手し、「インターネット出願ページ」より出願してください。

※出願期間については、本選抜概要又は各学生募集要項をご確認ください。

○インターネット出願ページ <https://e-apply.jp/e/tottori-u/>

鳥取大学ホームページ（トップページ）＞入試案内＞入学試験情報

【インターネット出願の流れ】



Step1

入試内容の確認

初めての方は出願手続きをはじめる前に必ずご確認ください。

入試内容については学生募集要項でご確認ください。

※調査書、推薦書、志望理由書等の必要な書類を事前に準備してください。



Step2

インターネット出願

インターネット出願ページへアクセス。

選抜方法や個人情報など必要事項を入力してください。



Step3

お支払い

コンビニ、クレジットカード、金融機関 ATM【Pay-easy】、ネットバンキングのいずれかでお支払いください。検定料の支払いには支払方法に関わらず、検定料の他に手数料が必要となります。



Step4

出願書類等の印刷

インターネット出願ページから出願書類等を印刷してください。



Step5

出願書類等の郵送

出願書類等を出願期間内に「簡易書留・速達」にて郵送（必着）してください。

（注）出願書類等を大学に持参する場合は、平日（9時から17時まで）のみ受け付けます。

出
願
期
間
前

出
願
期
間
中

12. 大学案内等の資料請求方法

大学案内及び各学部案内等が必要な方は、以下の方法で請求することができます。

また、これらの資料は、鳥取大学入学試験情報及び各学部のホームページでも閲覧することができます。

鳥取大学入学試験情報ホームページ <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

1. テレメールで請求する場合（インターネット・自動音声応答電話）



スマホ・ケータイで左のQRコードからアクセスした場合、資料請求番号の入力は不要。

①パソコン・スマホ・ケータイ（<https://telemail.jp>）又はIP電話（050-8601-0101）をご利用ください。

※IP電話：一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

②資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
大学案内	565902	250円
地域学部案内	565912	180円
医学部案内	568522	180円
工学部案内	565922	180円
農学部案内	565932	120円

③あとはガイダンスに従って登録してください。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送されます。

※料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。

※自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、氏名の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

【テレメールを利用した請求についての問い合わせ先】

テレメールカスタマーセンター IP電話050-8601-0102（受付9：30～18：00）

2. モバっちょで請求する場合



パソコン又は携帯電話・スマートフォンから<https://djc-mb.jp/toridai3/>にアクセスして資料請求してください。

資 料 名	送 料
大学案内	2 5 0 円
地域学部案内	2 5 0 円
医学部案内	2 5 0 円
工学部案内	2 5 0 円
農学部案内	2 5 0 円

- 資料請求料金をクレジットカード、又は携帯電話・スマートフォンの通話料金と一緒に支払えます。（支払手数料は別途必要です。）

※携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払いできない場合があります。

- コンビニ後払いでの支払いも可能です。（支払手数料は別途必要です。）

【モバっちょを利用した請求についての問い合わせ先】

モバっちょカスタマーセンター 電話050－3540－5005（平日10:00～18:00）

3. 大学へ直接請求する場合

- ①直接入手を希望する場合は、窓口（入試課）でお渡しします（無料）。
- ②郵送による請求の場合は、メール又はFAXに郵便番号、住所、氏名、電話番号、請求する資料の名称・部数を記載のうえ、入試課に請求してください。ゆうメールの着払いにて郵送します。
- ③国外から請求する場合は、400g料金相当の国際返信切手券を貼り、郵便番号、住所、氏名、電話番号、請求する資料の名称・部数を記載のうえ、入試課に請求してください。
なお、返信用封筒のない場合又は切手不足の場合は、送付しないことがありますので十分注意してください。

【大学への直接請求についての問い合わせ・請求先】

鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

T E L (0857)31-5061

F A X (0857)31-6778

E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

1 3. 入学者選抜試験個人成績の開示

本学では、令和2年度入学者選抜試験に係る一般入試受験者の個人成績については、本人から申請のあった場合に限り開示します。

なお、詳細については令和元年11月上旬に公表を予定している「令和2年度一般入試学生募集要項」で発表します。

また、開示する入試情報は、一般入試のみであり、アドミッションオフィス入試、特別入試（推薦入試、帰国子女入試、社会人入試）及び私費外国人留学生入試については開示しません。

1 4. 鳥取大学の紹介（大学案内・入試情報）

大学案内及び入学試験に関する情報等については、ホームページ、携帯電話サイトを開設しています。

◎ホームページアドレス <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp>

◎携帯電話サイト <http://daigakuje.jp/toridai/>

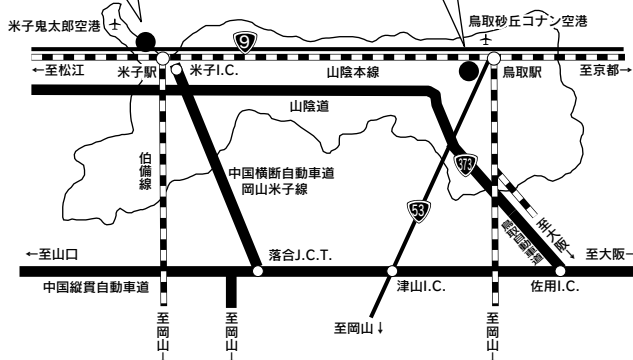


鳥取大学 位置図

米子（医学部試験会場）



鳥取（地域学部・工学部・農学部試験会場）



※ 交通案内

鳥取（地域学部・工学部・農学部試験会場）

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

- ・JR鳥取大学前駅で下車すぐ
- ・JR鳥取駅からバスで約30分
- ・鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約5分

米子（医学部試験会場）

〒683-8503 米子市西町86番地

- ・JR米子駅から徒歩で約15分
- ・JR米子駅からバスで約5分
- ・米子鬼太郎空港からバスで約30分
- ・米子鬼太郎空港からタクシーで約20分

鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

電 話 (0857) 31-5061

F A X (0857) 31-6778

E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

ホームページアドレス

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

携帯電話サイト <http://daigakuje.jp/toridai/>

